No. 5 Narumigata

なるみかた

五

明治十六年六月十五日版權免許
明治十六年七月廿五日刻成

金壹圓七拾五錢

著述者　愛知縣士族　小田切春江
名古屋區南久屋丁五丁目七番地

出板人　愛知縣平民　片野東四郎
名古屋區玉屋町三町目貳番地

於て三線地は和なれバといふべけり。
以上を三等に分て。其激海の一つく度とせり
以下を呂として何はの難の中にあるへし
あらはれ出づ。
是以後十四等を以て一つに秋の調子を見
秋の花まづ寒為てら花か為ら時雨



彫刻 豐原堂

妙な紙の事なる哉。以てのほかこ
のむくしさへかつのかけぬきて。佐渡紙あ。
この寺の紙の図りすゝみはひ出る。
奈良のこの紙や。こゝうのかなといと
こそやひなきの寒なる。といこ寒て
紙をとむ紙也。夜のとこ人の春雨

御尋被下ニ付て。御懇志の程難有存候。拙者
儀も近日とて。夏中ハ御暇乞ニ湖東辺へ
江参候。併ながら不日帰京ニ付て
萬々得貴意候。右ハ先御報まて如此御座候。
池田大人。尊の許。二伸　宜しく。御序の節
乍憚御一同様へも宜敷奉願。

宮内省出仕日下部□三版
□寺□式□蔵□刊

者ノ妙千變万化不可思議ノ狀體ナレバ卷尾ニ聊カ記シ有職家ニ問フ若シ精シキヲ知ラントナラバ圖上ニモ記シヽ如ク雪花圖說ニ就テ觀玉ヘカシ

○好古日録ニ弇世知レザル古器ト云ヘル条ニ隱岐國若玉酢神社ニ傳フル所ノ驛路鈴ヲ載ス今縮圖シテ形狀ノ凡ヲ知ラシム

已上三十一條

撰者春江自識

ことはの初やつまり。わかなりこの春さる。

うかつ拾ひつはちまちも。これはつまきも。

事一もなく寫しそうよ。後の分

すつ笑つ風さく。ひかりの御引きさ

おそありける。剣太刀尾張国。厚倉

なく庭ちもとゝ人。当切春江。いその初もとよ

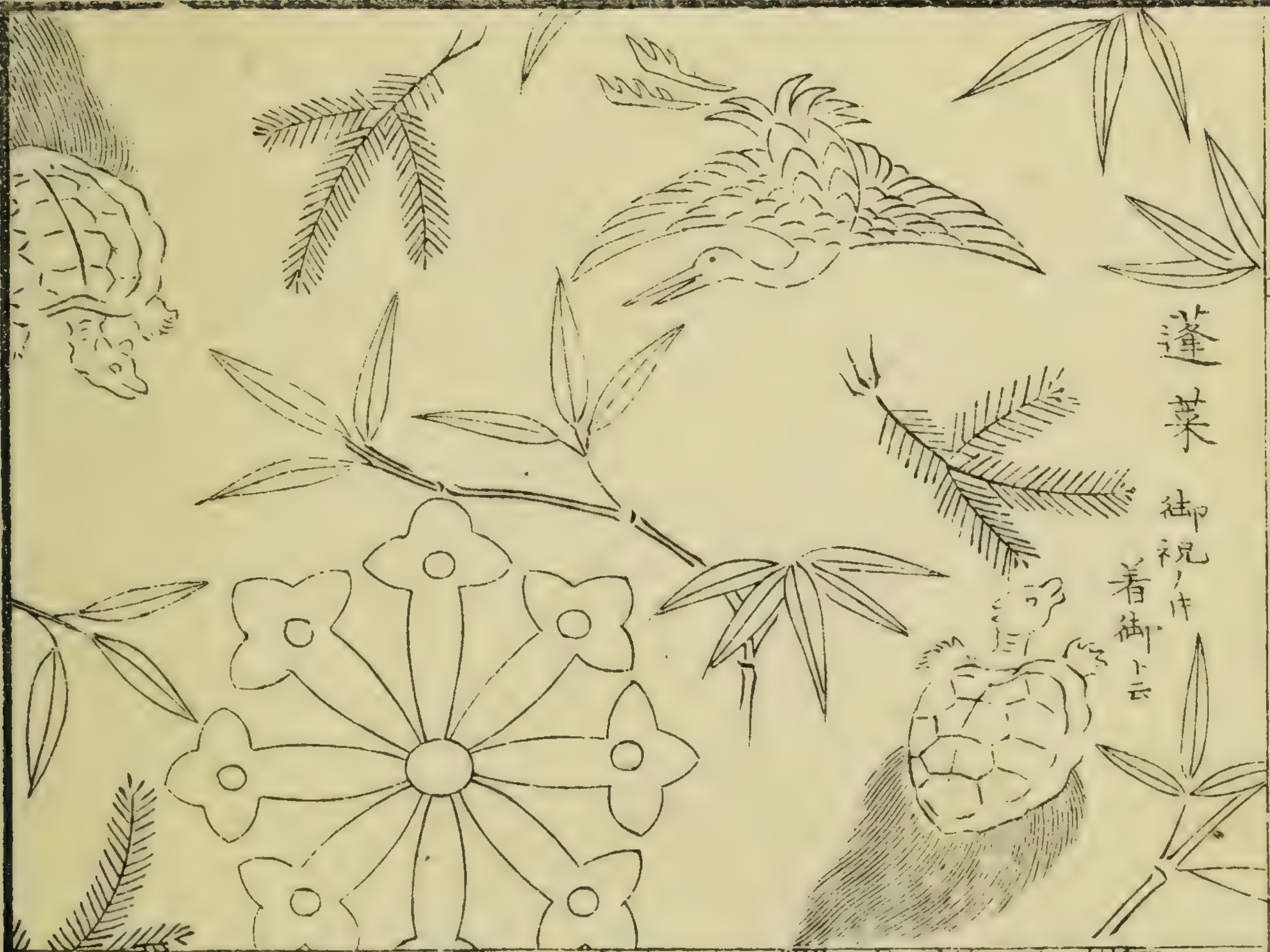
ノ開演ヲ俟ノミ

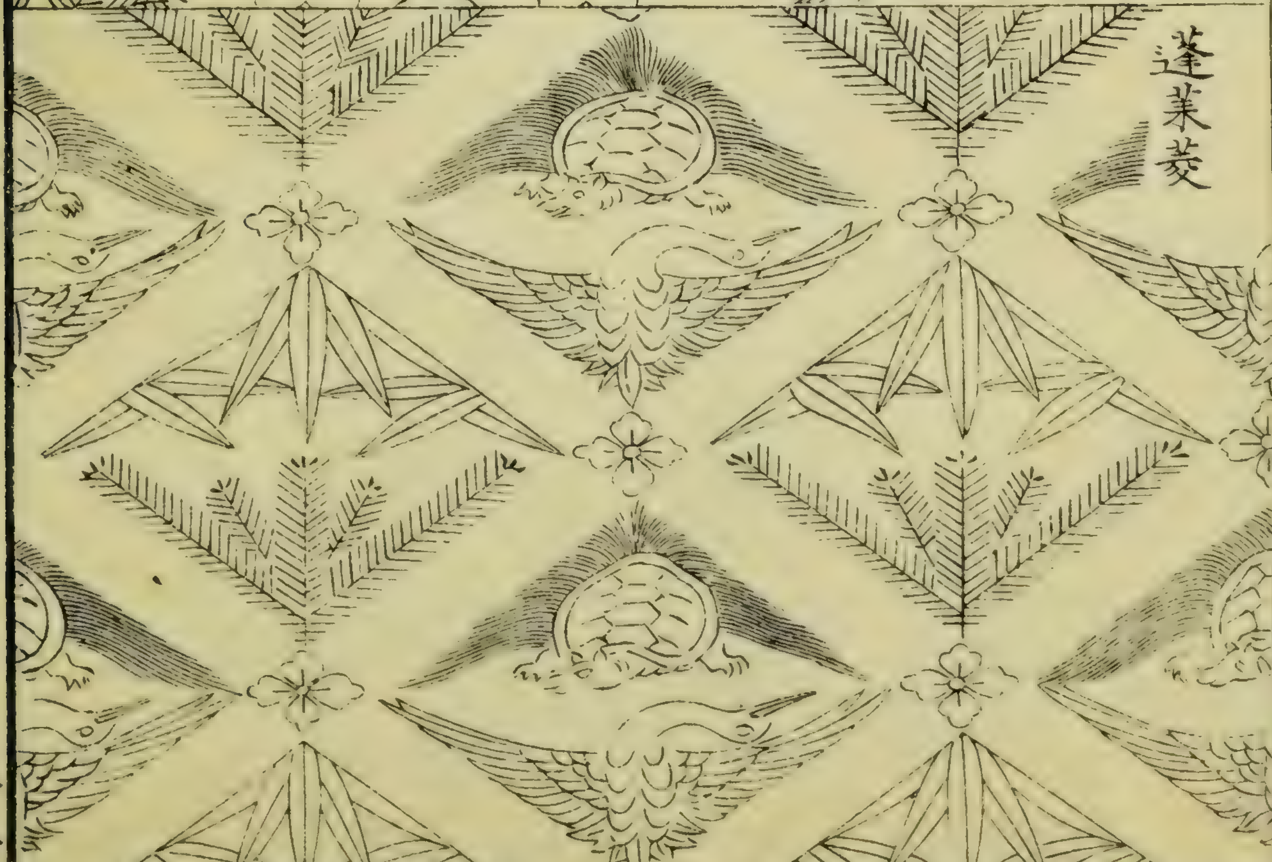
◯鳥襷ノ紋ニ用ヒ或ハ屛風ノ裏形ニ付ル鳥ノ形チ俗ニ雀形ト云或人ノ説ニ此鳥ハ鳳鳥ナリト云ヒ又此鳥ニ足無シ足ヲ画クハ誤リナリト云ヘリコハ鳳鳥ヲ見ザル頃ノ説ニテ取ニ足ラズ鳳鳥ハ亞米利加ノ産ニテ近年多ク舶来セリ小鷹ノ如キ足アルモノナリ

◯染韋ハ有職ト云ニモ非ザレドモ天平韋ノ如キハ聖武天皇ノ御宇ニ製セシ物ニテ殊古ケレバ其紋ヲ聊カ出シテ参考ノ便リトセリ此天平韋ト言ヘルハ白韋ヲカキ色地ニシテ摸様ヲ白ク出シタルナリ地文カラ草ヤウノ物又不動明王ノ像八幡ノ二字或ハ梵字又天平十二年八月ノ七字ヲ付ルスベテ染韋ハ甲冑ノ用ニ多シ肥後国八代郡ヨリ製シ出ス今明治ノ御代ニハ甲冑ノ用無ケレハ自ラ廃物ニ属スルニ至ル又正平韋ト云アリ正平ハ南朝ノ年號ニテ後村上天皇ノ御宇ナリ此韋ノ染方モ上ニ同ジク柿色ノ地ニ白ク紋ヲ出ス摸様ハ唐草獅子ナドヲ付ク

正平六年六月一日ノ八字紋様ノ中所〻ニ在リ天平韋ニ似タル韋ナリ是モ肥後国八代郡ヨリ出ス又菖蒲韋ト云ヘルアリ地ヲ藍又ハ萌黄ニシテ菖蒲ノ花様ヲイクラモ並ベテ染ノ白ク摸様ヲ出スナリ又花無キモアリ駒形ト云モアリ馬ノ形チヲ小ク染タルナリ其外瓜形杉立等種〻ノ染方有レモ菖蒲ト呼ベル事ハアヤメノ紋様ヨリ呼初シモノナリ又延喜式ニ見エタル纈韋ハ括リ染ノ韋ナリ一ノ巻ニイヘル纏代纈纈染ト同ジク韋ヲ括リ染ニシタルナリト云

○雪ノ異名ヲ支那ニテハ六出ト云ヒ和哥ニハ六ツノ花ト詠ミ画ニ雪輪ト云物アルモ其形状ノ百千ニ分レテ何レモ六出ナル事ヲ窮理セシ人モ無カリシニ天保年ノ頃下総古河ノ領主土井許鹿大人雪花圖説ヲ著ハシ雪花ノ圖百九十五種ヲ寫シテ世ニ出サレシヨリ人民其形チノ異同ヲ知リ其頃万物ノ紋ニ付テ都鄙共ニモテハヤセシ事枚挙ニ遑アラズ今古摸様ヲ輯ムルニ及ビテ不圖彼圖説座右ニ在ルヲ閲スルニ其形状一ツモ有職ノ古摸様ニ劣レルハ無シ造物


蓬莱
御祝ノ時着御ト云

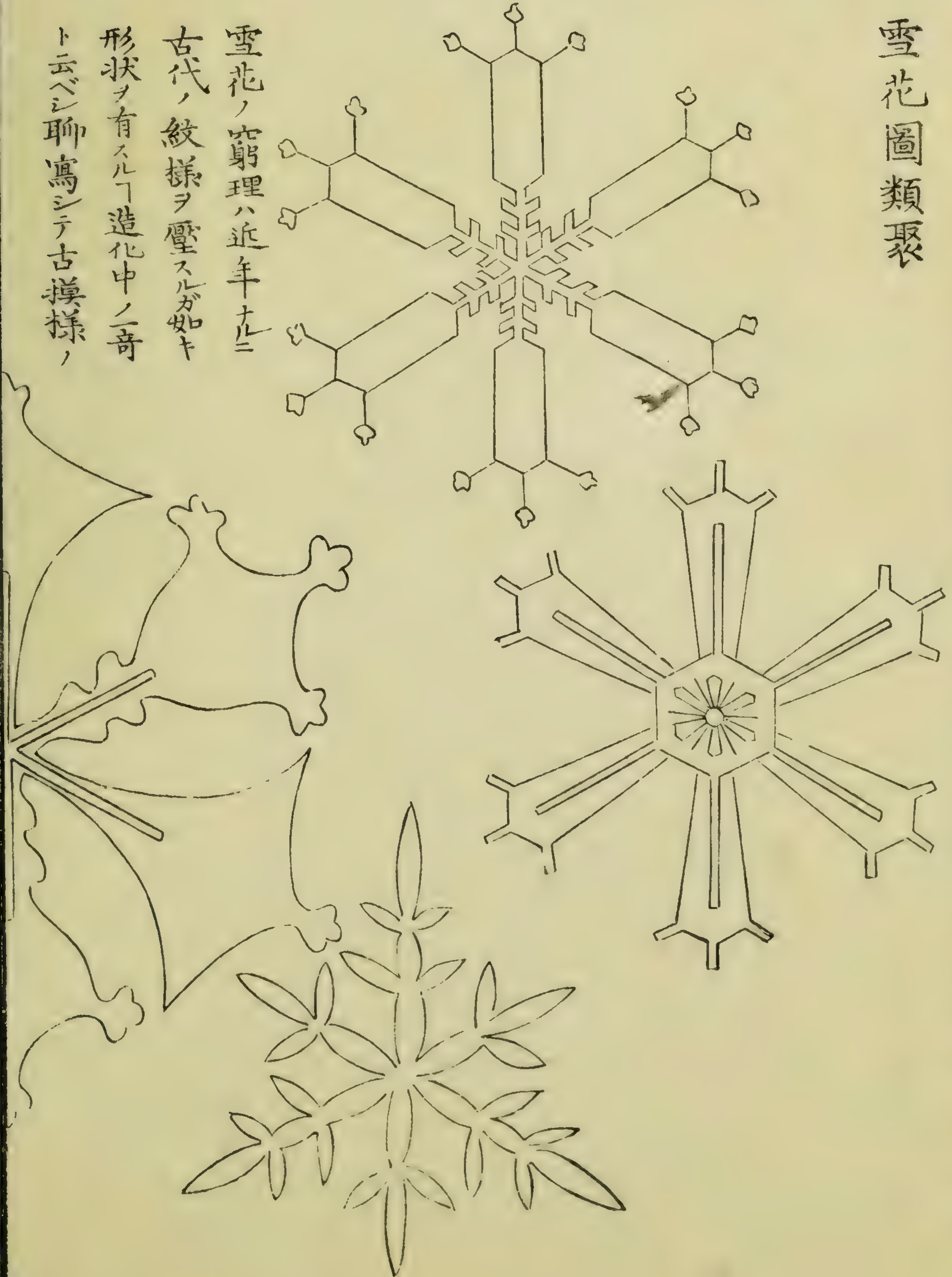

蓬莱菱

附言

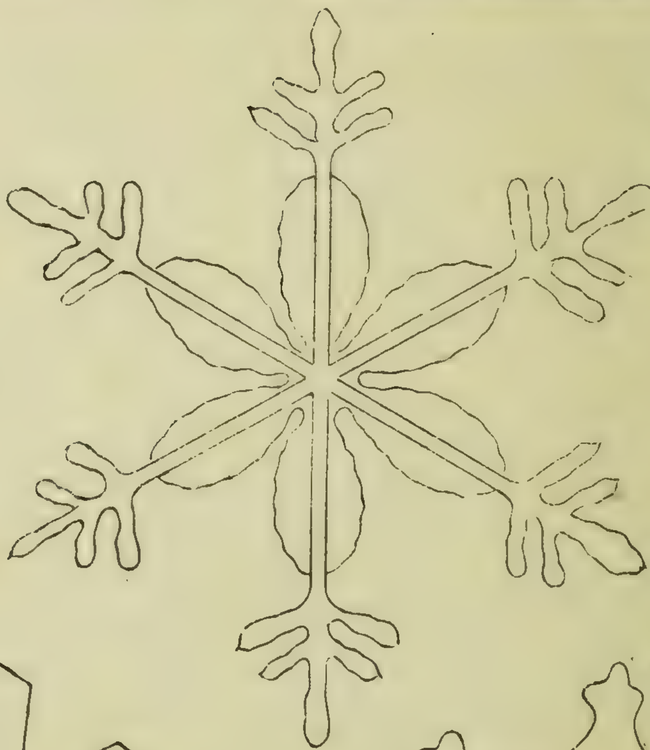
○東大寺ニ納マル御物ノ手匣ハ地黒漆ナルニ金貝ニテ花鳥ノ紋アリ其花菊花ニ似タリサレド奈良七代ノ御宇ニハ今ノ家々ノ庭ニ生フシタツル種々ノ菊花アルコトナシ今ノ菊ハ平安城以後ニ唐國ヨリ渡リテ人民毎ニ愛ヅル者トナリタリサル故ニ六帖紀貫之 古郷ヲワカレテ咲ル菊ノ花タヒラカニコソ匂フベラナレト詠レタリ此平カハ平安ノ都ヲ云ト齋藤彦麿ガ随筆傍廂ニモ粗見エタリ其後大ニ行ナハレテ今菊トシ言ヘバ異国種ノ花ヲ愛スルナリ往昔ヨリ有来シ日本ノ菊ハ今モ野山ニ自ラ生出ル野菊ト云モノニテ花形大ニ異ナリ尤此花ハ神代ヨリ有シト覺シク菊理媛命ト云ヘル神ノ御名モ有レド何トナク賤シゲニテ愛ルヿモ無カリシニヤ歌ナドニモ詠シ事ナク奈良ノ朝ニ選マレタル萬葉集ニモ菊ノ哥ナキハ其故ナリト云サルヲ此手匣ノ紋様ニ野菊トオボシキ花ヲ付シハ審カシト思ハルレドカヽル物ニハ用ヒシ事モ有シヤ猶識者

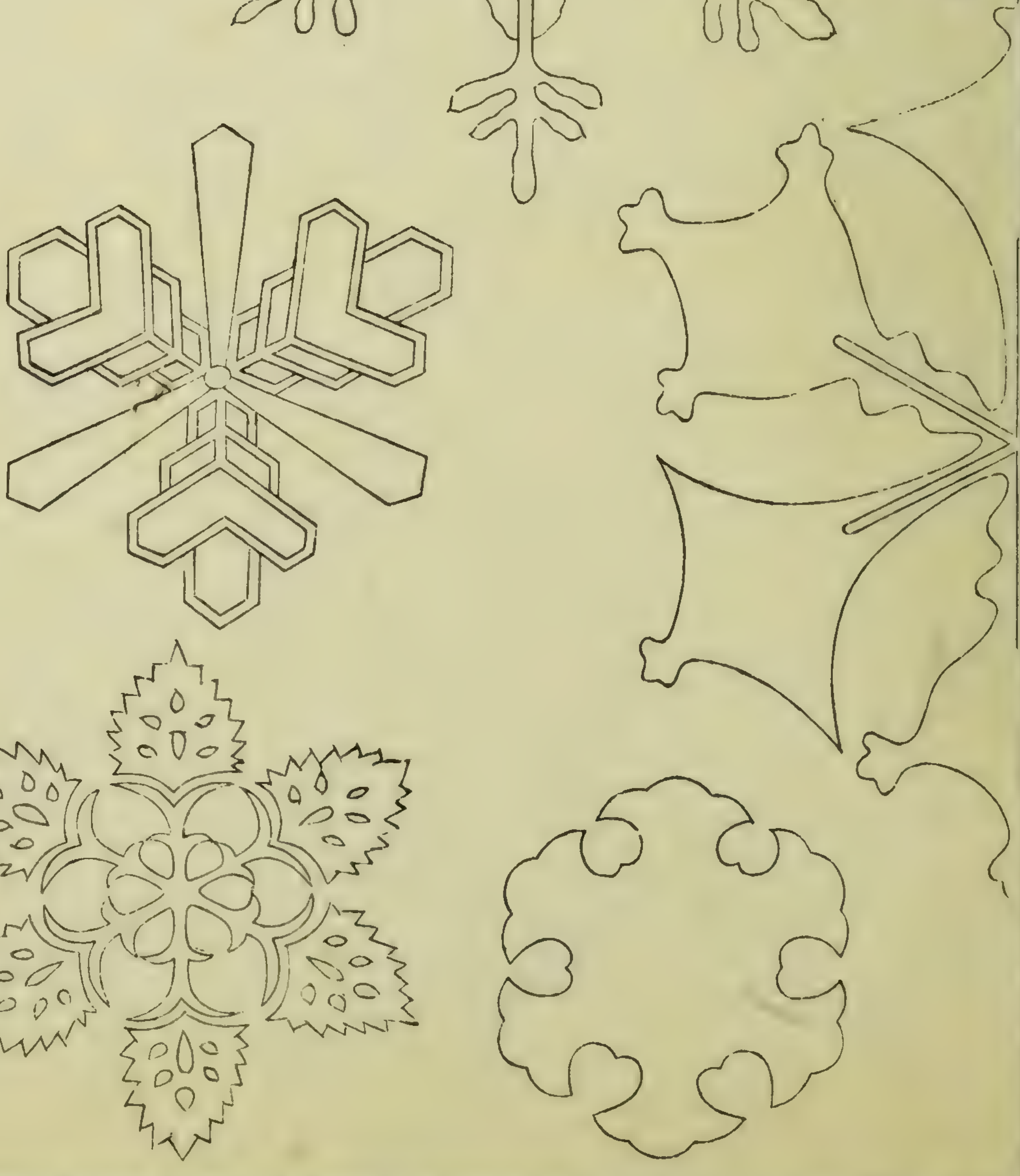
雪花圖類聚

雪花ノ窮理ハ近年ナルニ古代ノ紋様ヲ壁スルガ如キ形状ヲ有スルヿ造化中ノ一奇ト云ベシ聊寫シテ古模様ノ



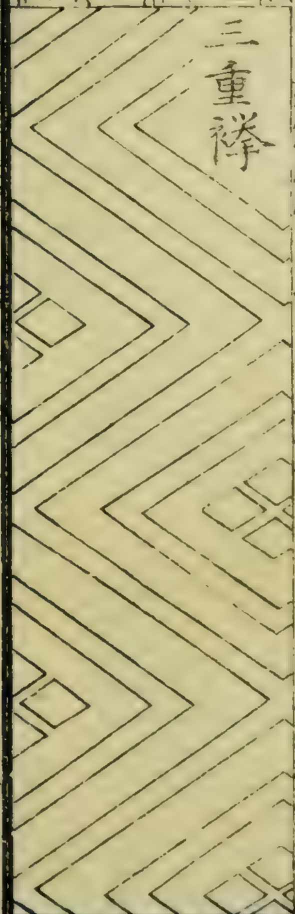
中ニ加フ猶委シクハ雪花圖説ニ見エタリ



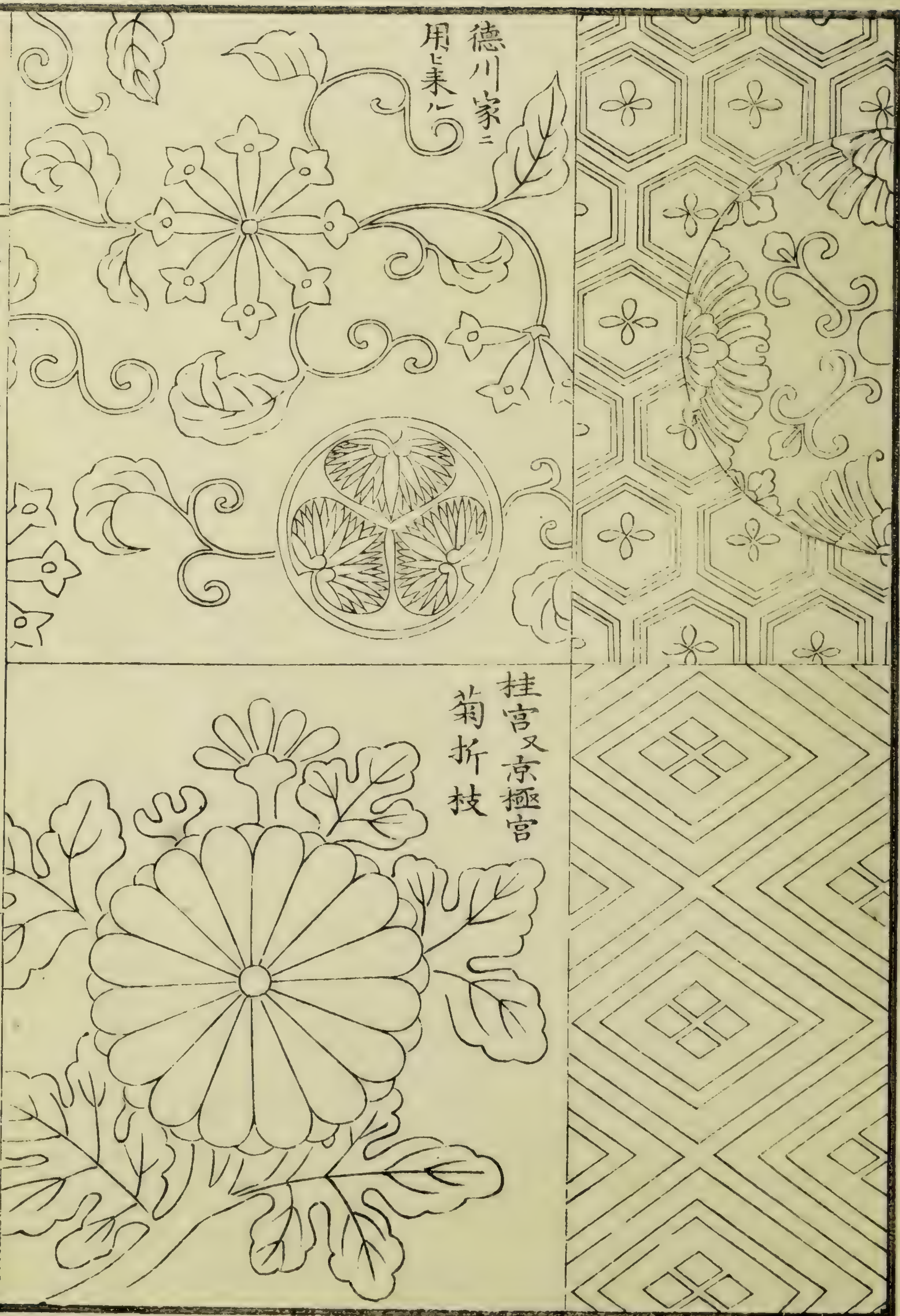



亀甲上文
臥蝶


麴塵御袍


三重襷


鳥襷


徳川家ニ用ヒ来ル
桂宮又京極宮
菊折枝

紋淵所載

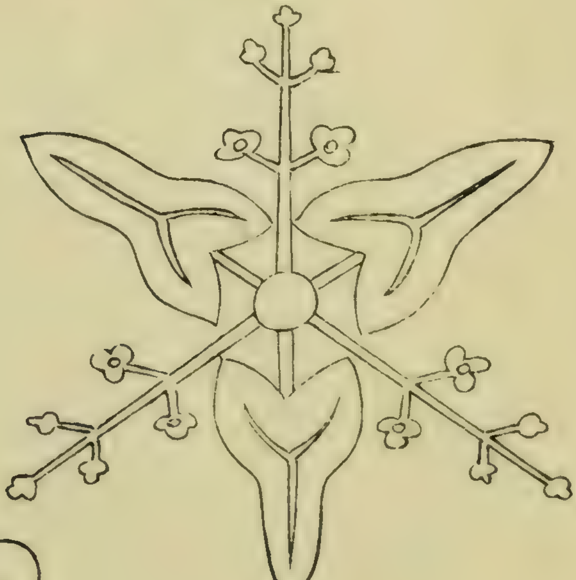
八種

出所不詳





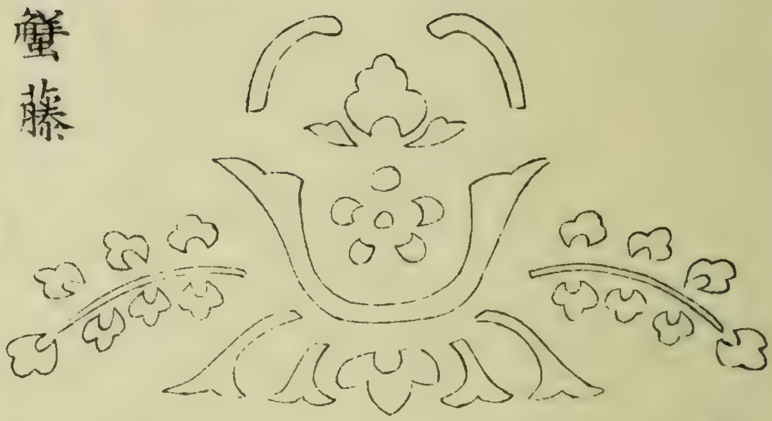


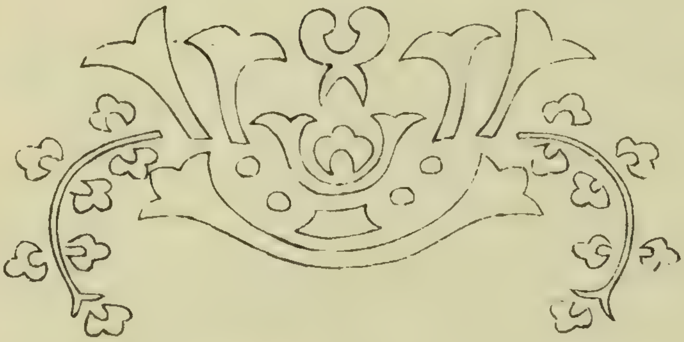


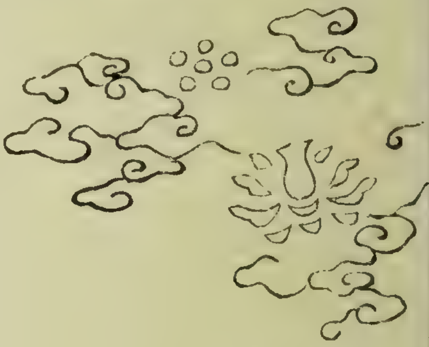




蟹藤
出所不詳
但近世ノ製歟



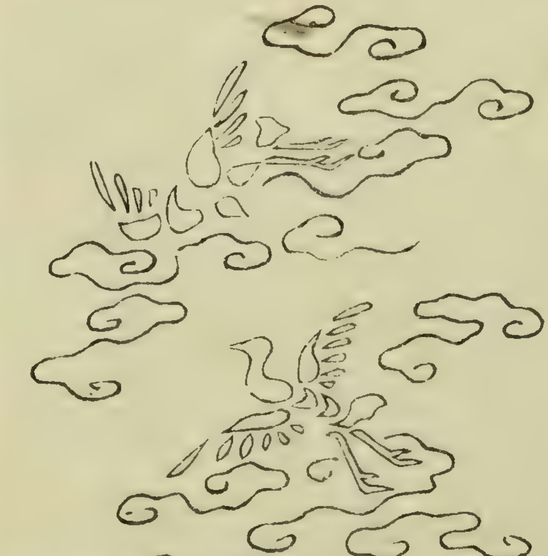




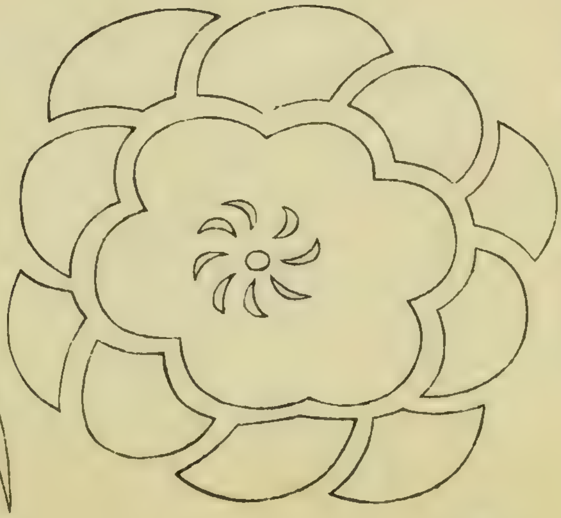
夛度神社神宝
古鏡背面



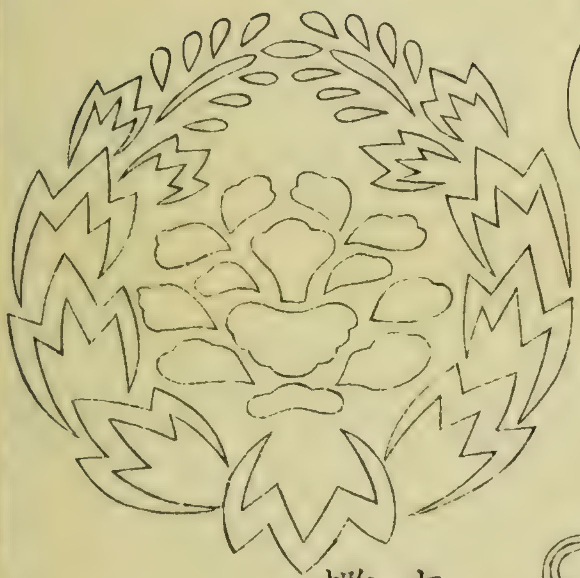
雲鶴異文



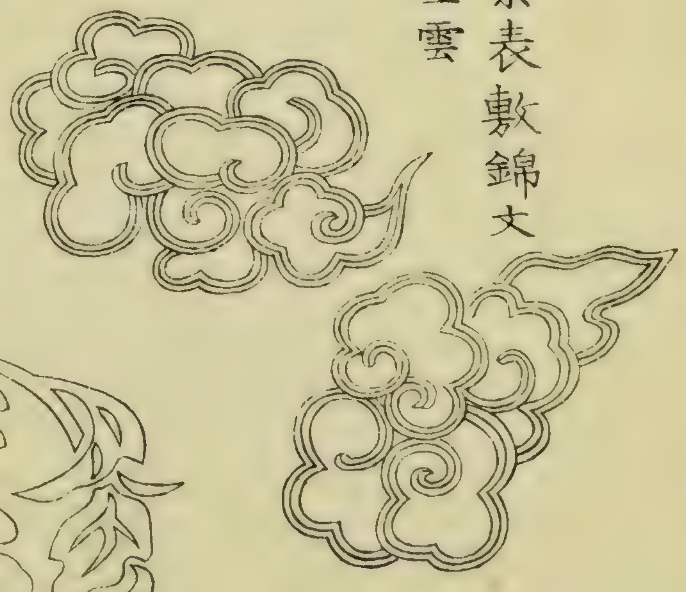
女帝御五ツ衣ノ文



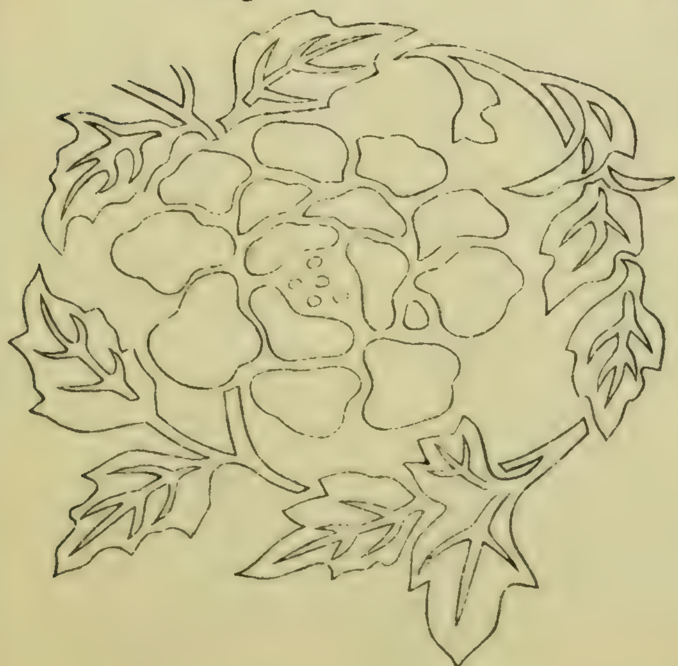
女御御表着ノ文



置物案表敷錦文
三重雲



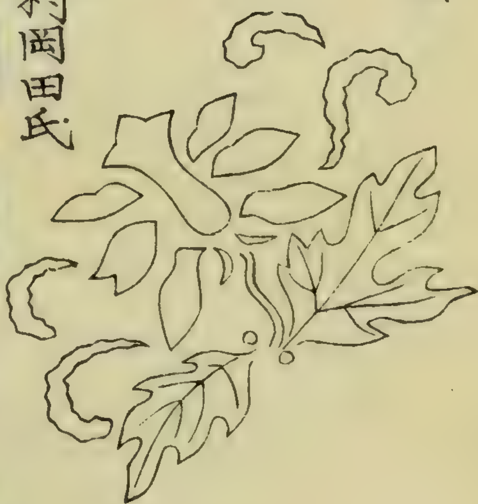
高御座檻内敷錦ノ文



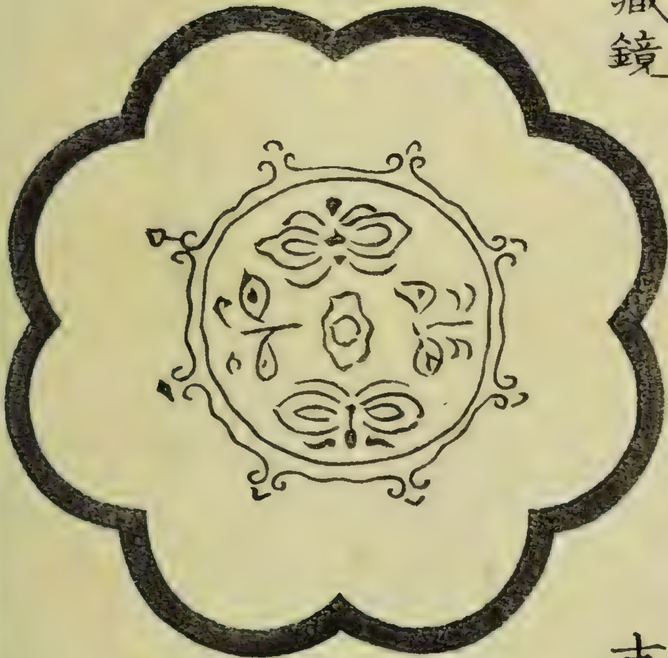
奈良景清地藏堂藏角古鏡背面



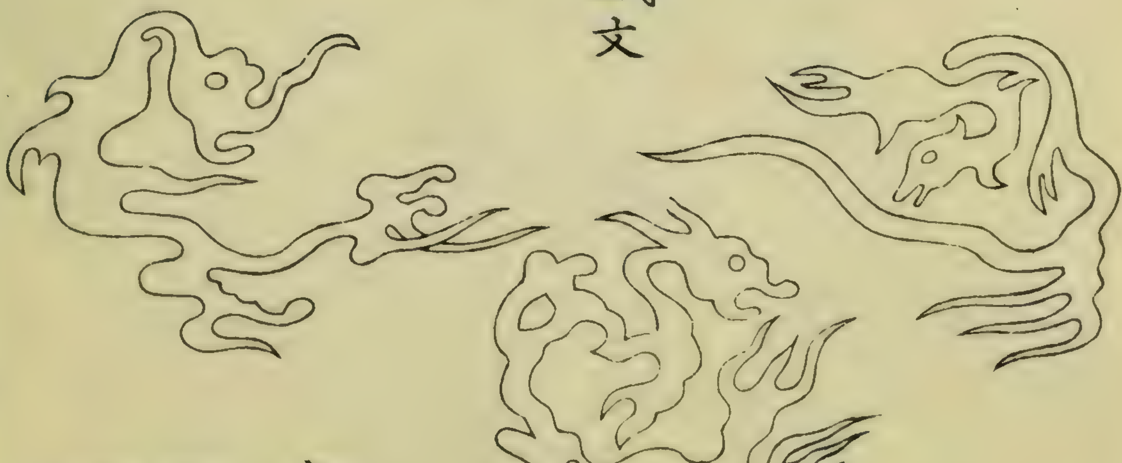
足利義政公肖像文



讃岐國陶村岡田氏藏鏡



古織文



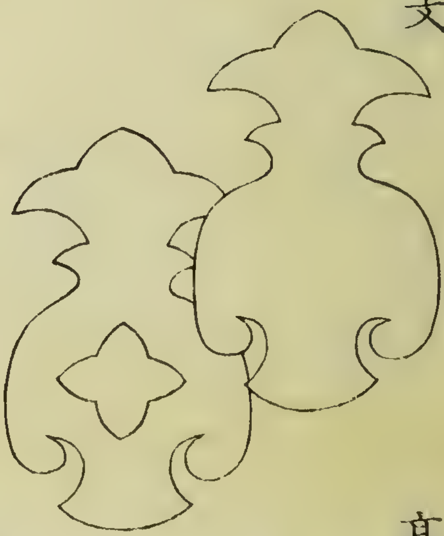
古色紙文



仝



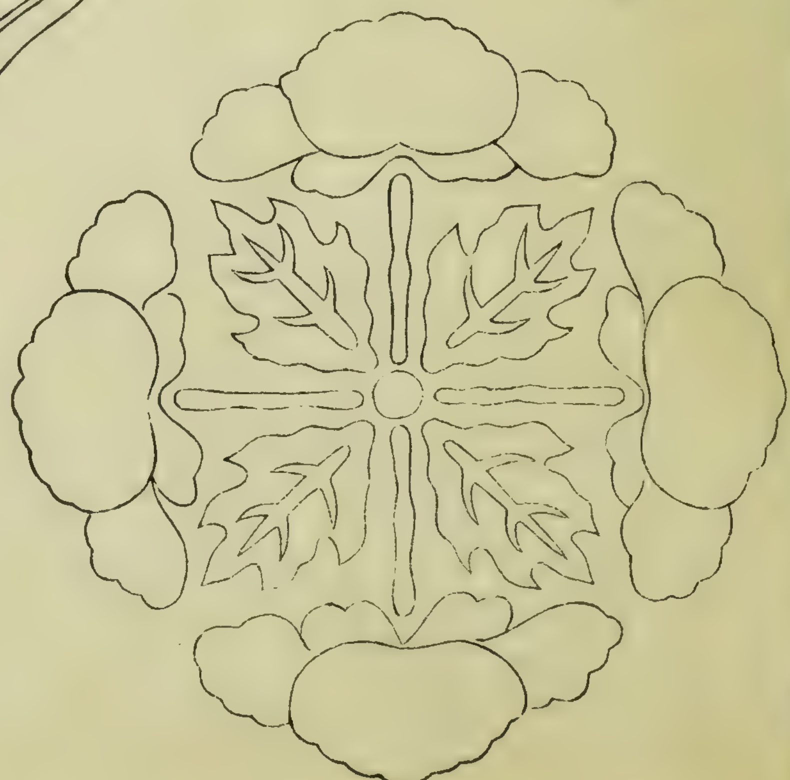
古錦文



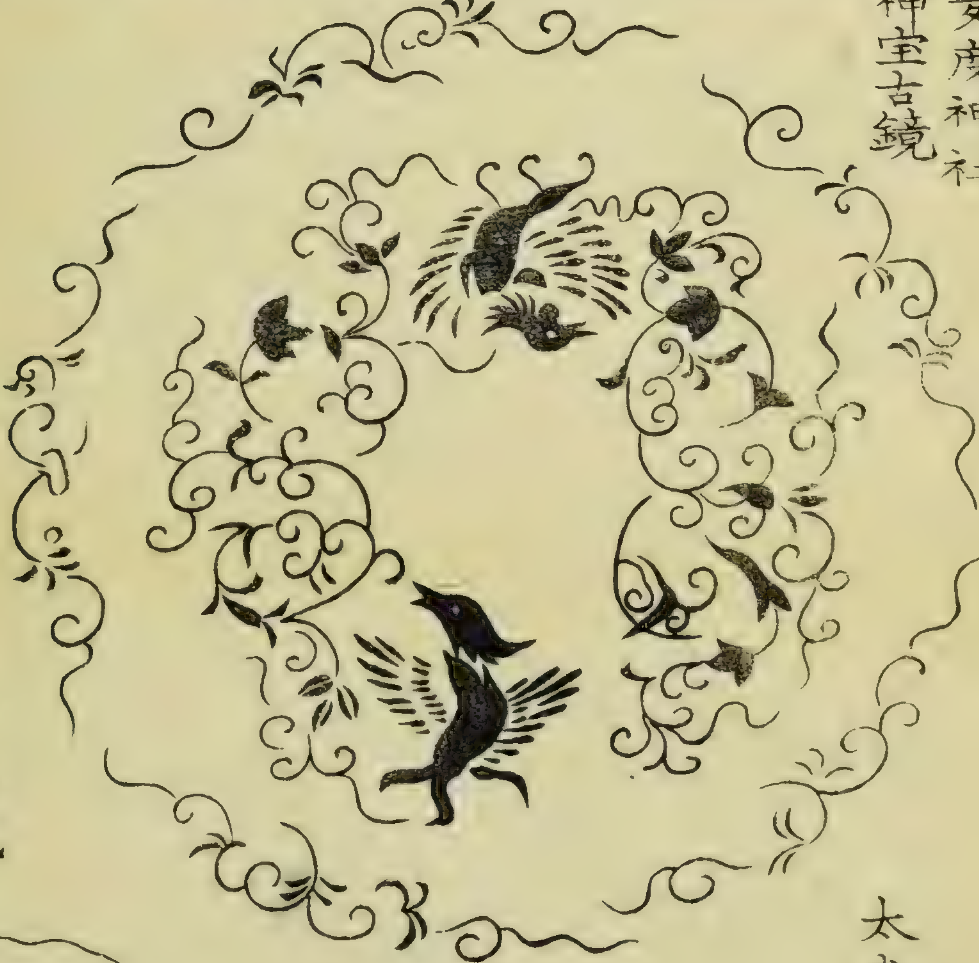
古綾文



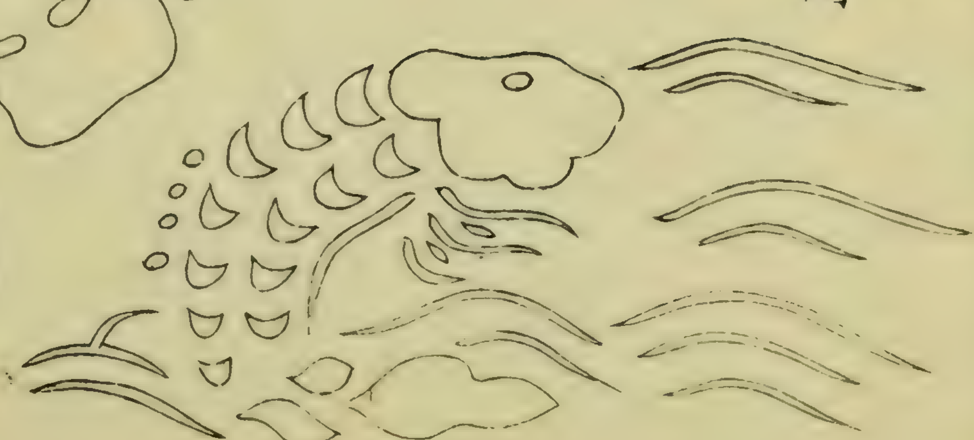
高雄山藏
源頼朝公
肖像文



多度神社
神宝古鏡



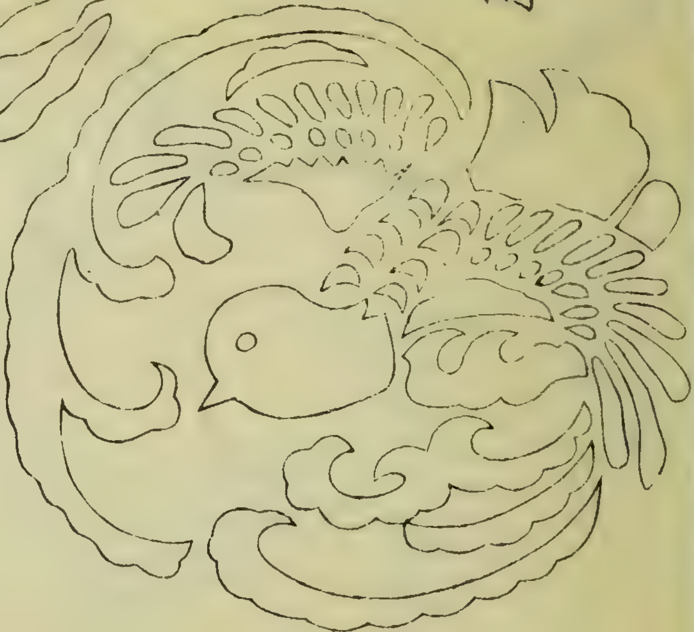
太秦牛祭繪詞
衣文



古色紙
下画



四條道場遊行繪詞　中



仝



古綾文



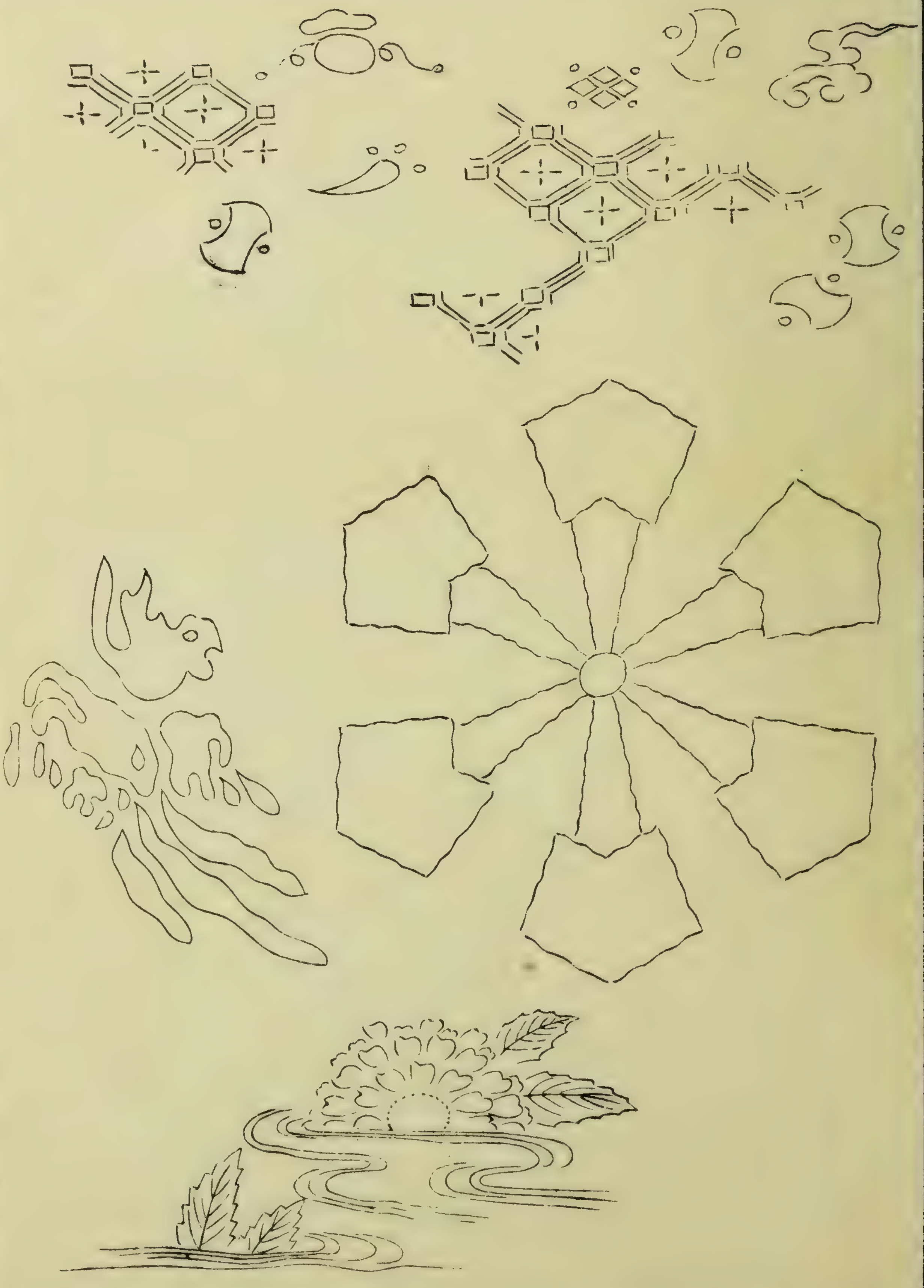


紋淵所載

紋様八種

出所不詳





東大寺三ツ倉御物投壺文様

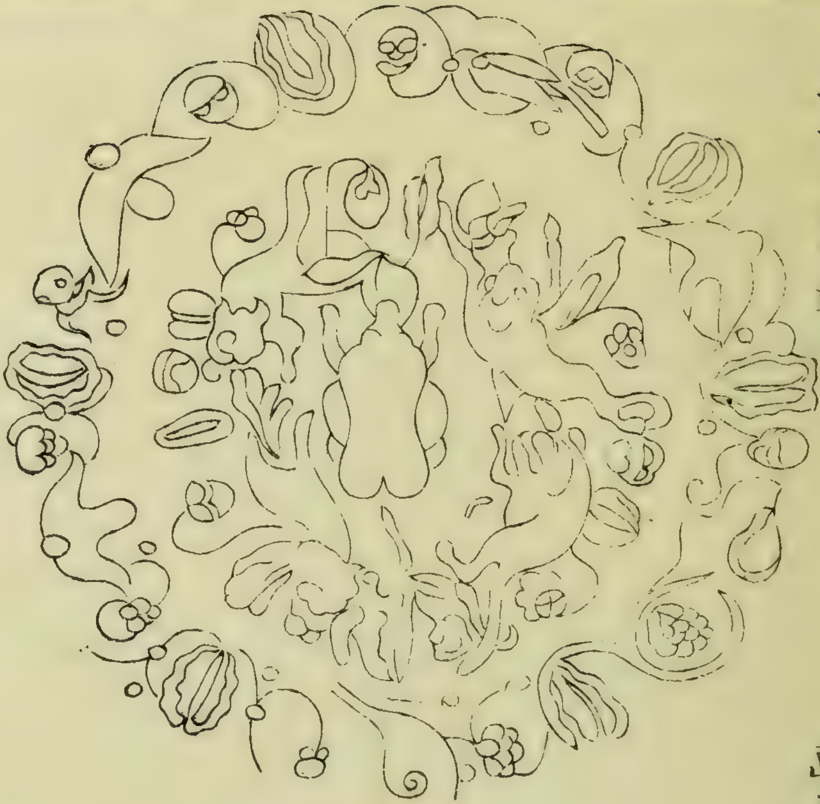




古綾文



或家藏古鏡背面
集古十種所載



年中行事
画巻中



仙院御袍



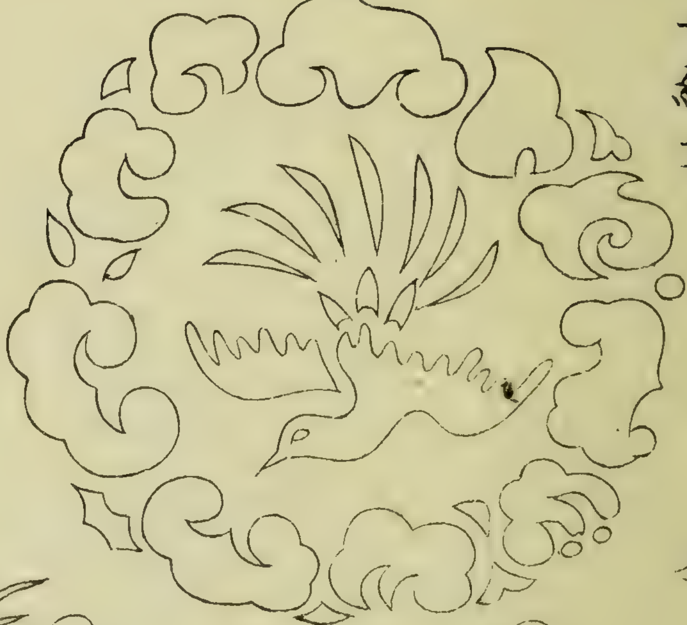
色紙下繪 水玉



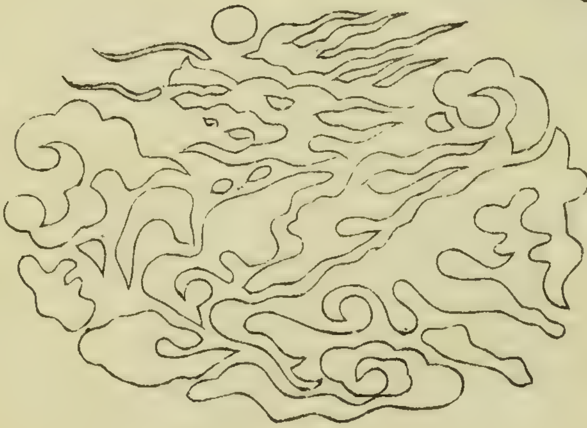
讃岐國陶村
岡田氏藏古鏡背面



古綾文



六孫王像文



仝



安良比花繪詞中文

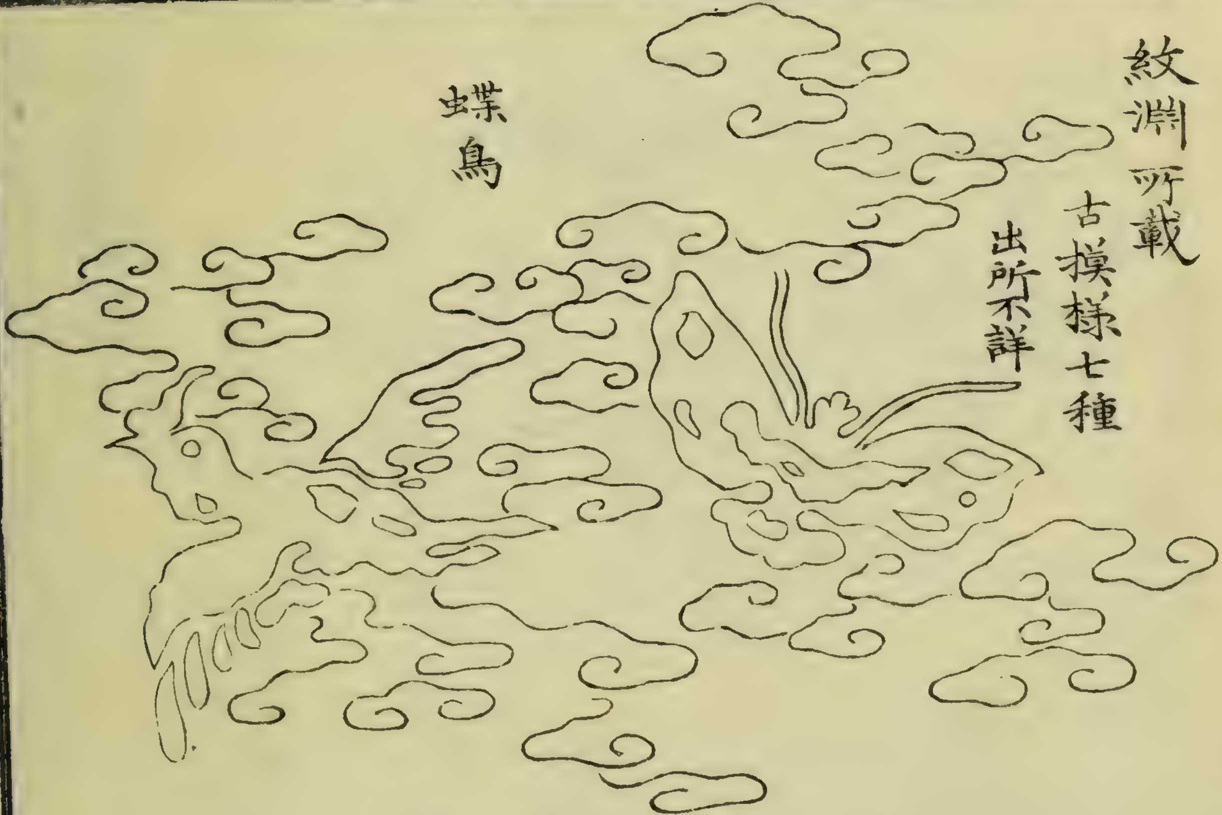


紋淵所載

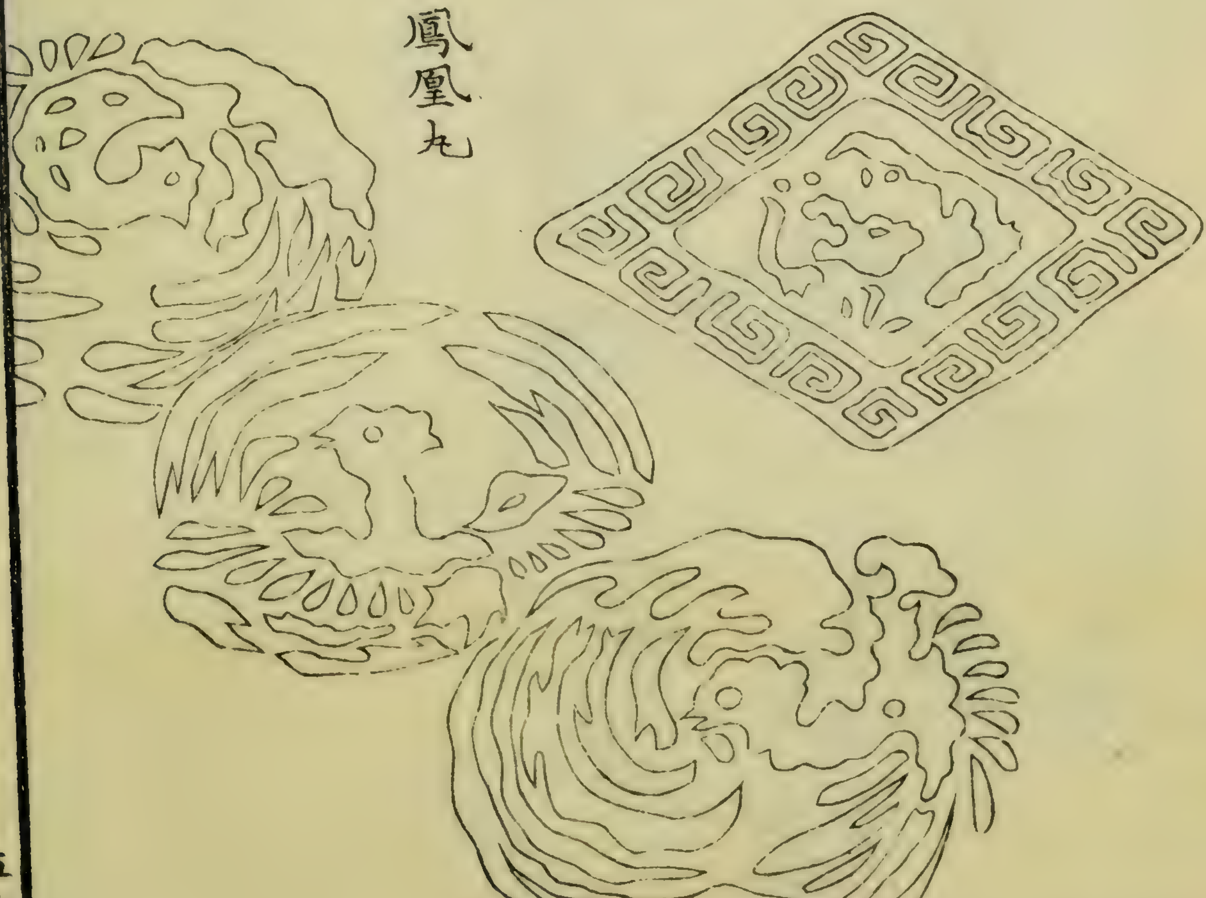
古摸様七種

出所不詳

蝶鳥



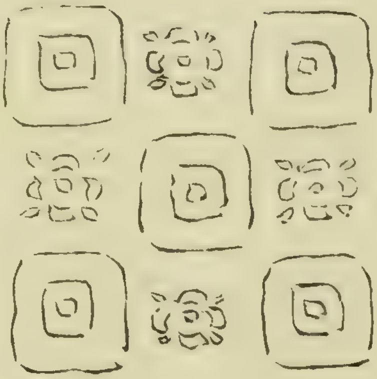
鳳凰丸



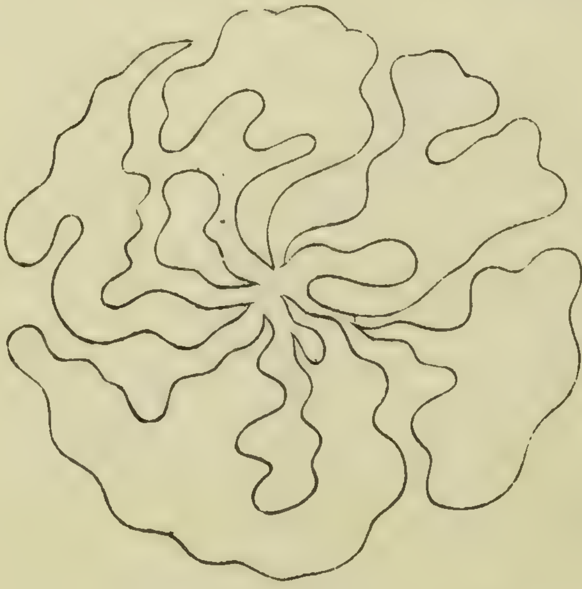
一条桐菱







此紋春日驗記ニモ見ル
大同小異カ





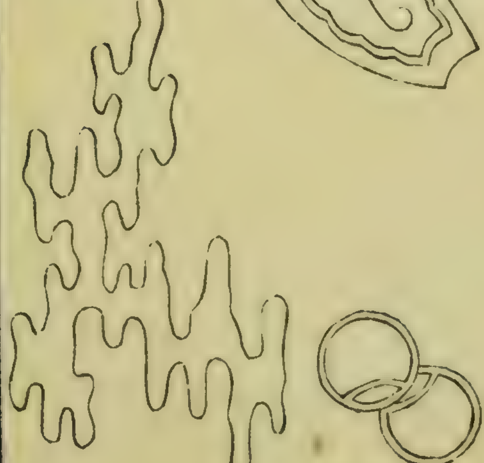


笹蔓異文



七宝繋古綾文

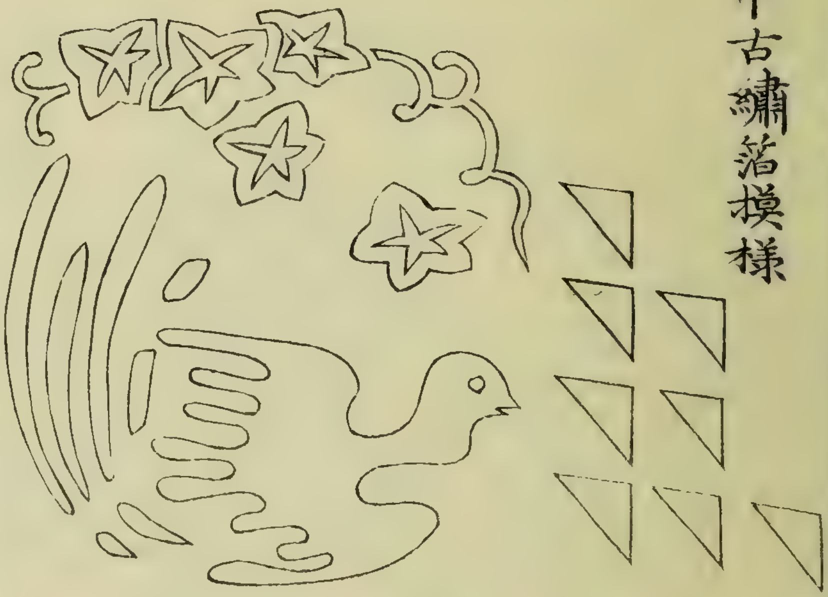
水玉朽木形 大徳寺ニ在ト云





花兎裂異文

中古繍箔模様





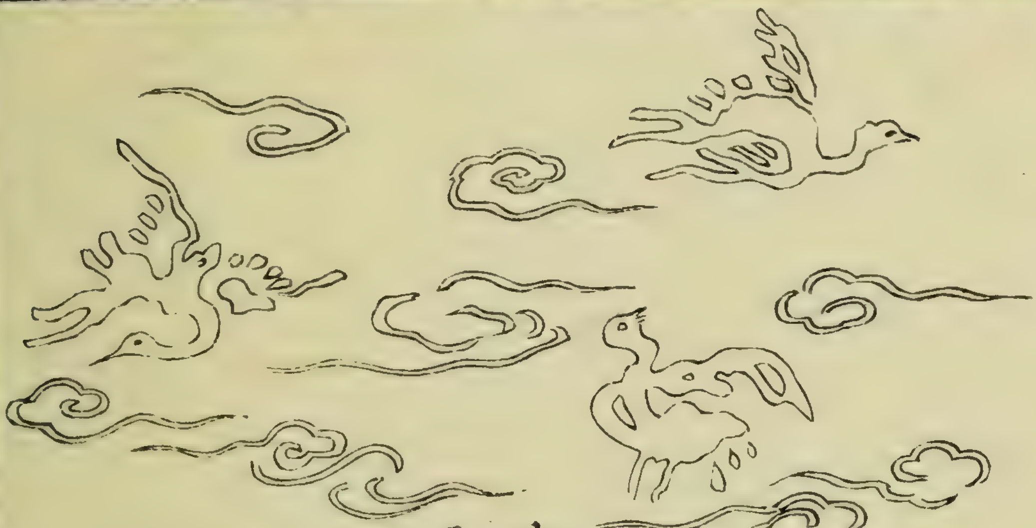
多度神社神宝
古鏡背面



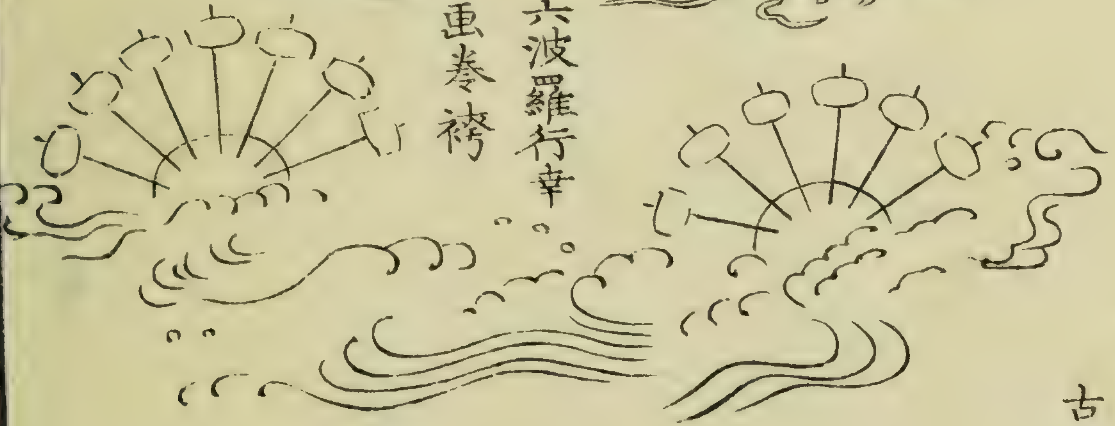
名物裂
花兎



宇佐八幡繪詞中



六波羅行幸
畫巻袴



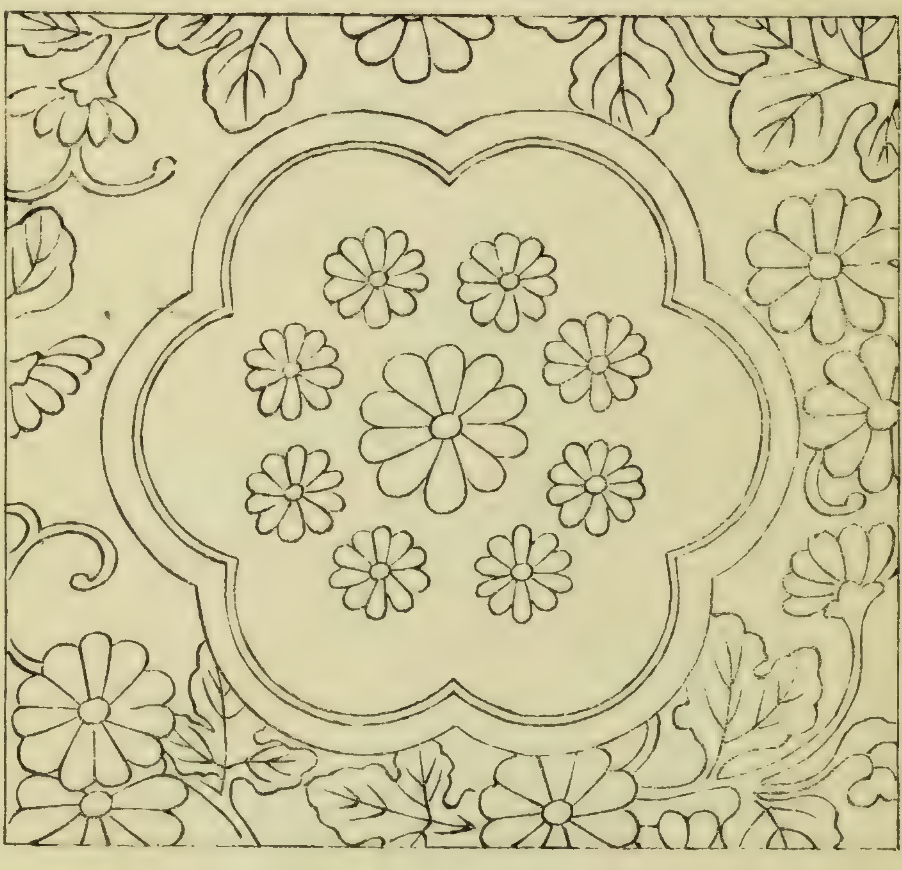
伊勢國多度神社神宝
古鏡背面

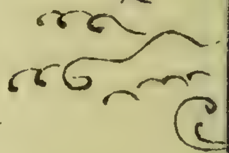


豊臣秀吉公肖像
直垂ノ文



太上天皇御袍又伏見殿着用モ
窠菊ト云





古錦文

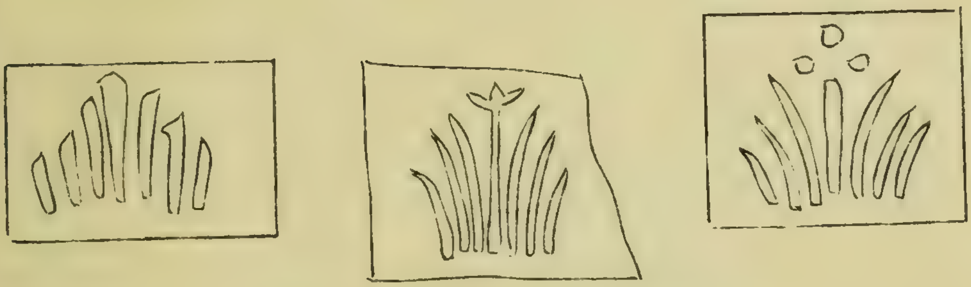


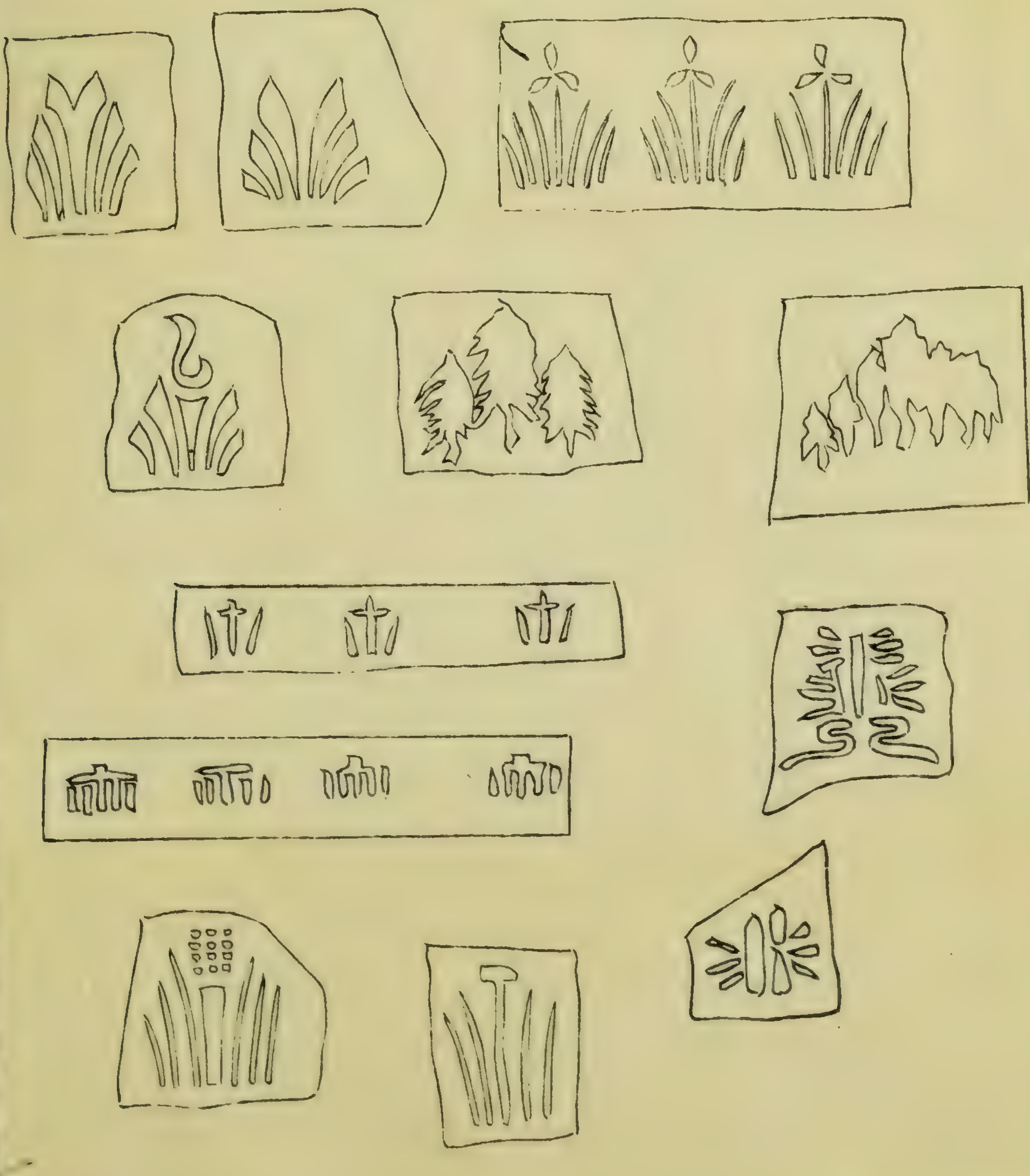
日光御宮陽明門天井
昇降ノ二龍　狩野探幽筆
今隈取ヲ略ス

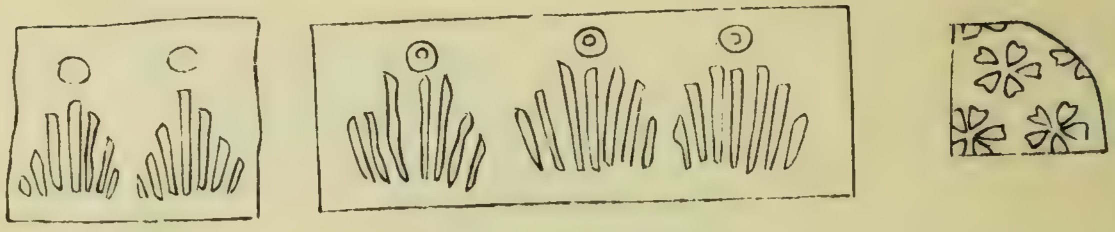


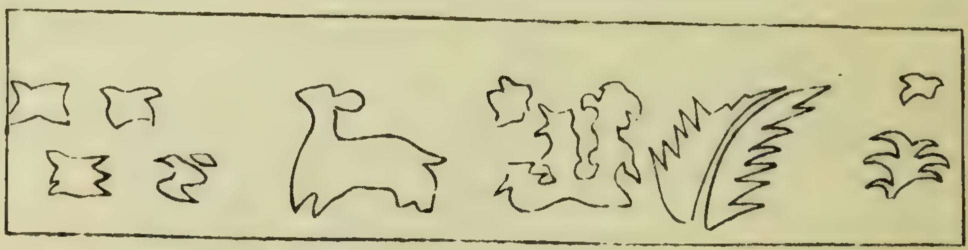


其二

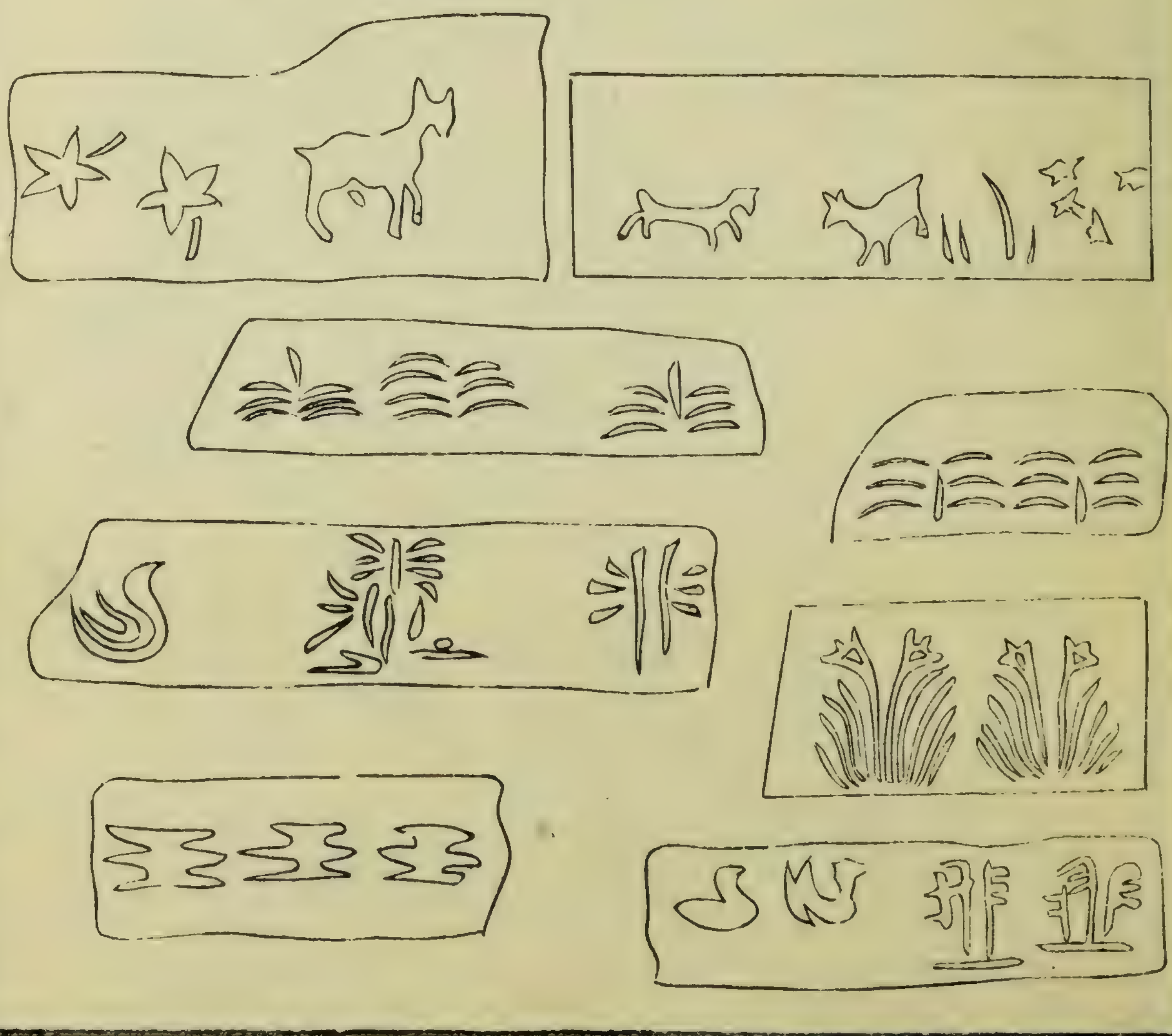




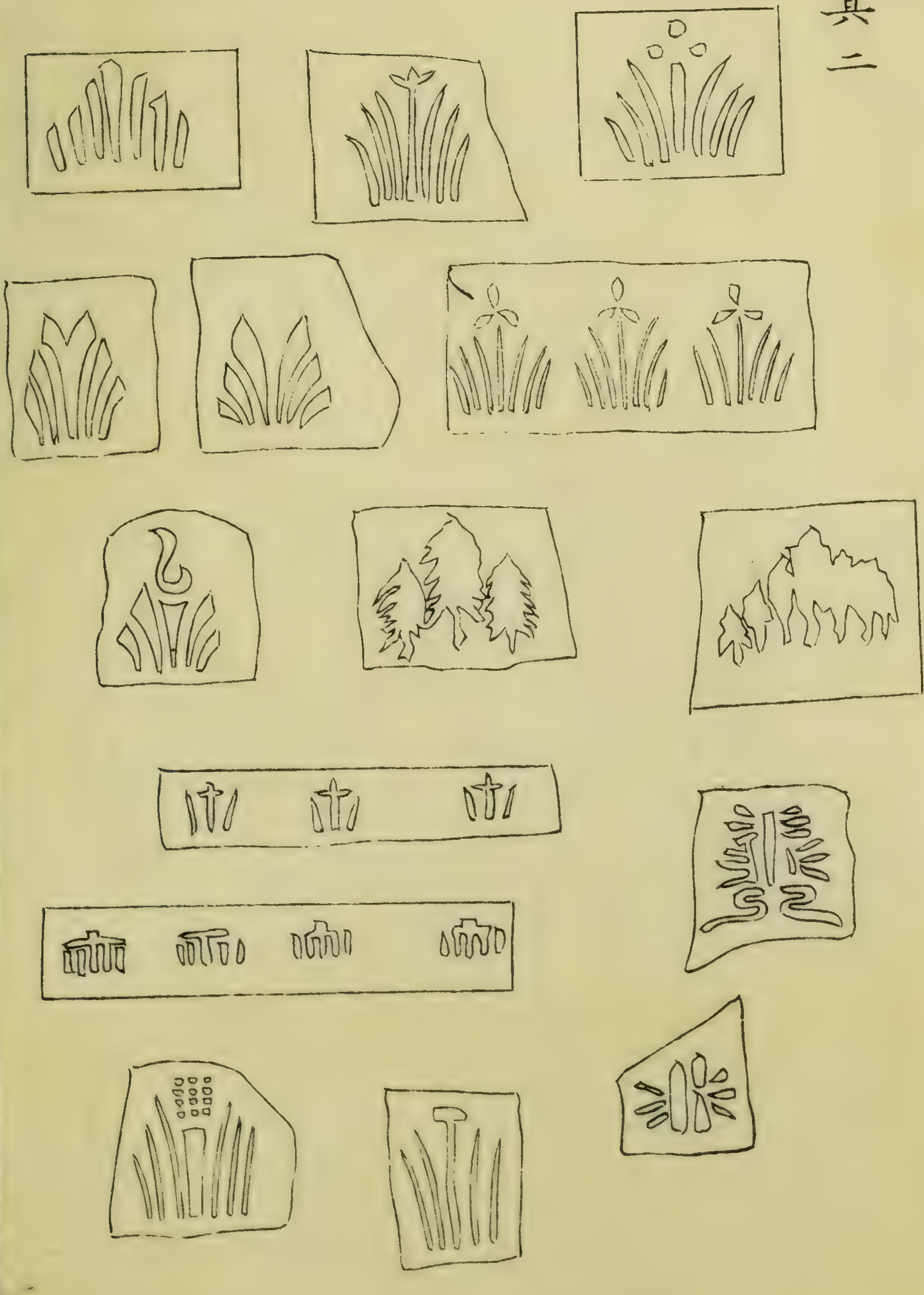


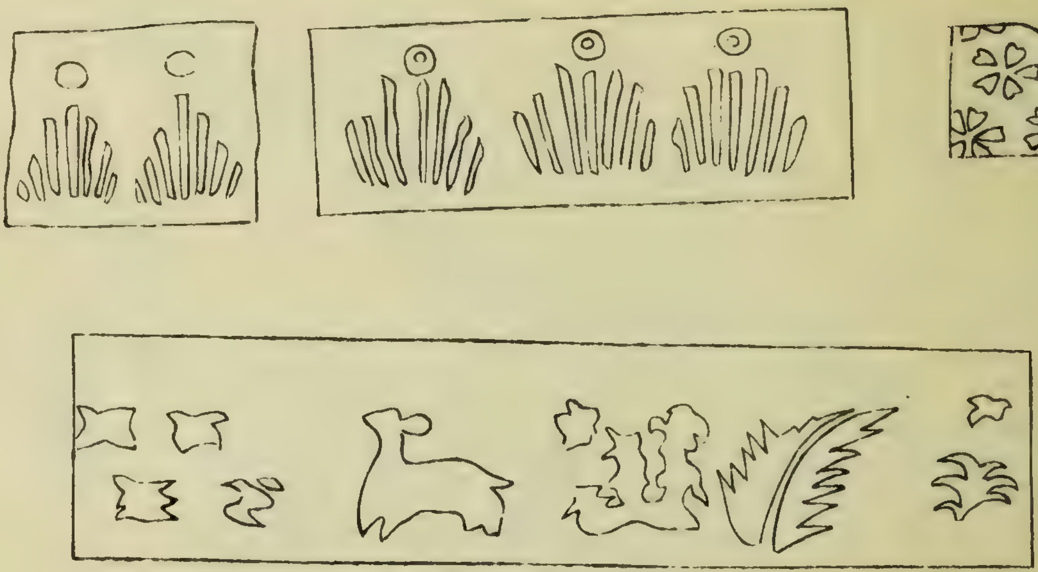


楓鹿



其二





楓鹿



春日神社藏古鎧模文章

天平宝字二年ノ文字アリト云



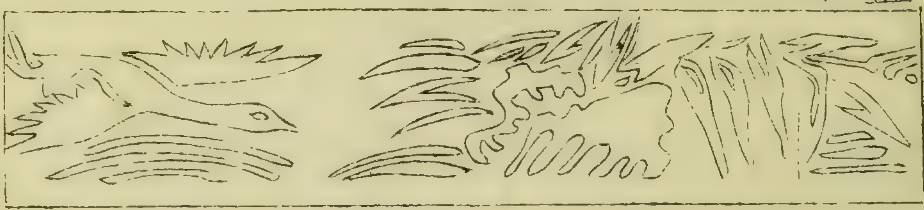
菖蒲革類聚

春日神社藏
古鎧ニ用ユ稀代ノ品ナリ

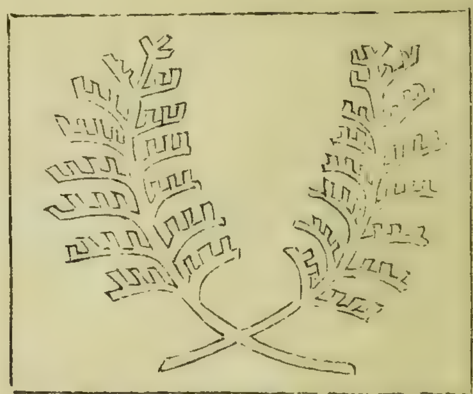
野馬文



蘆鴈文



齒朶文

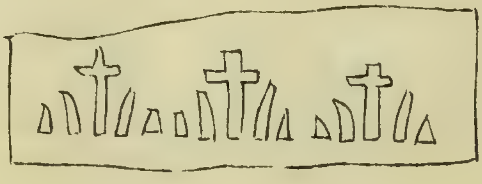


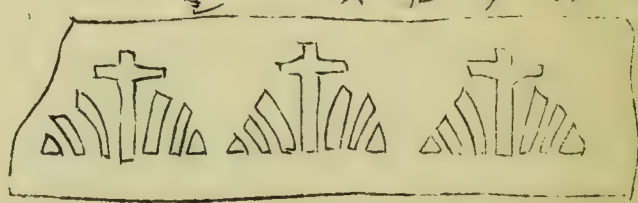
仝



杉立文

此文杉ノ叢立テ遠望スル如クナレバ号ク異文多シ



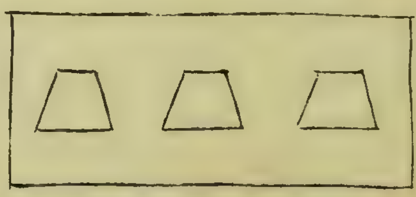


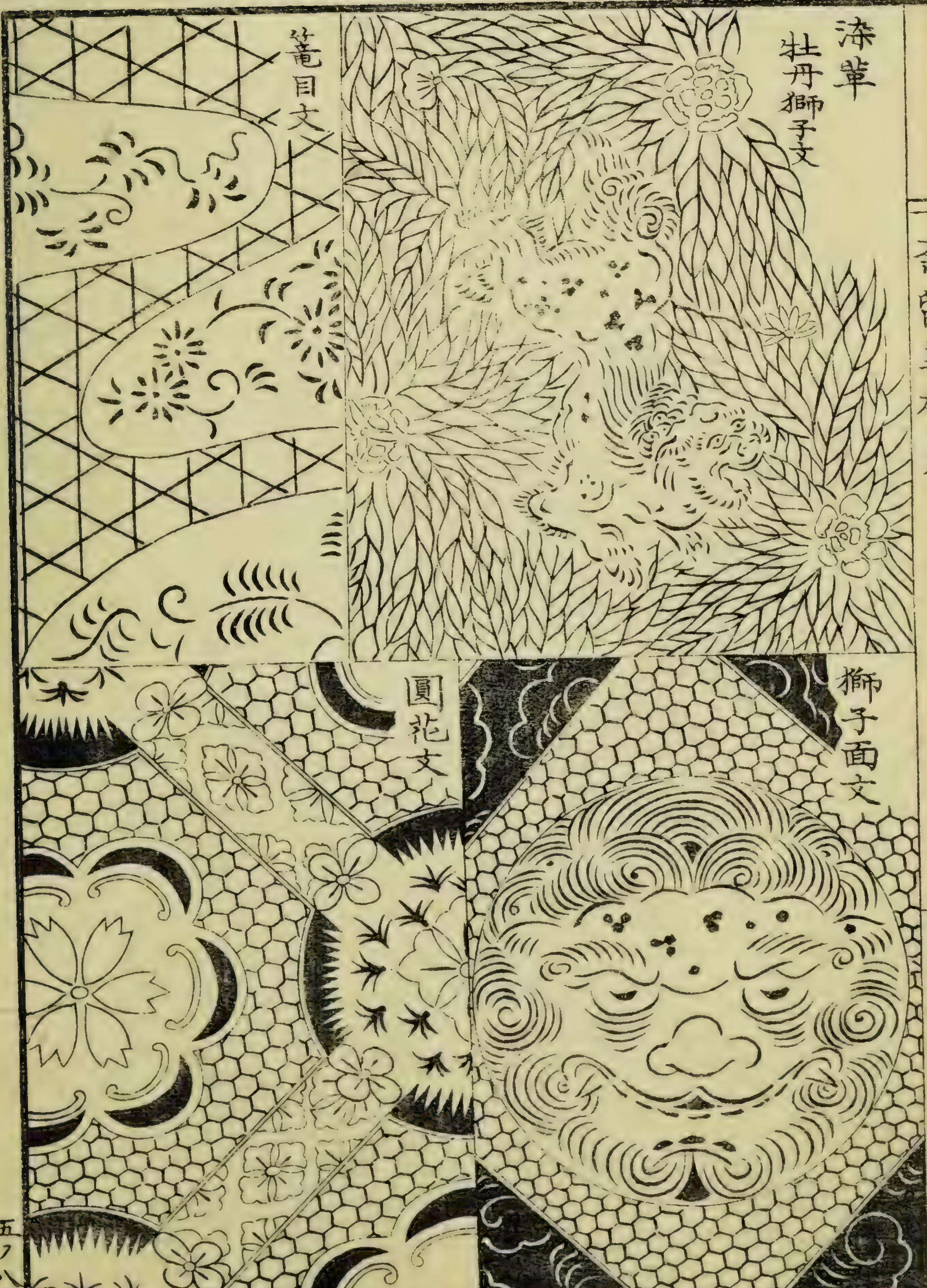




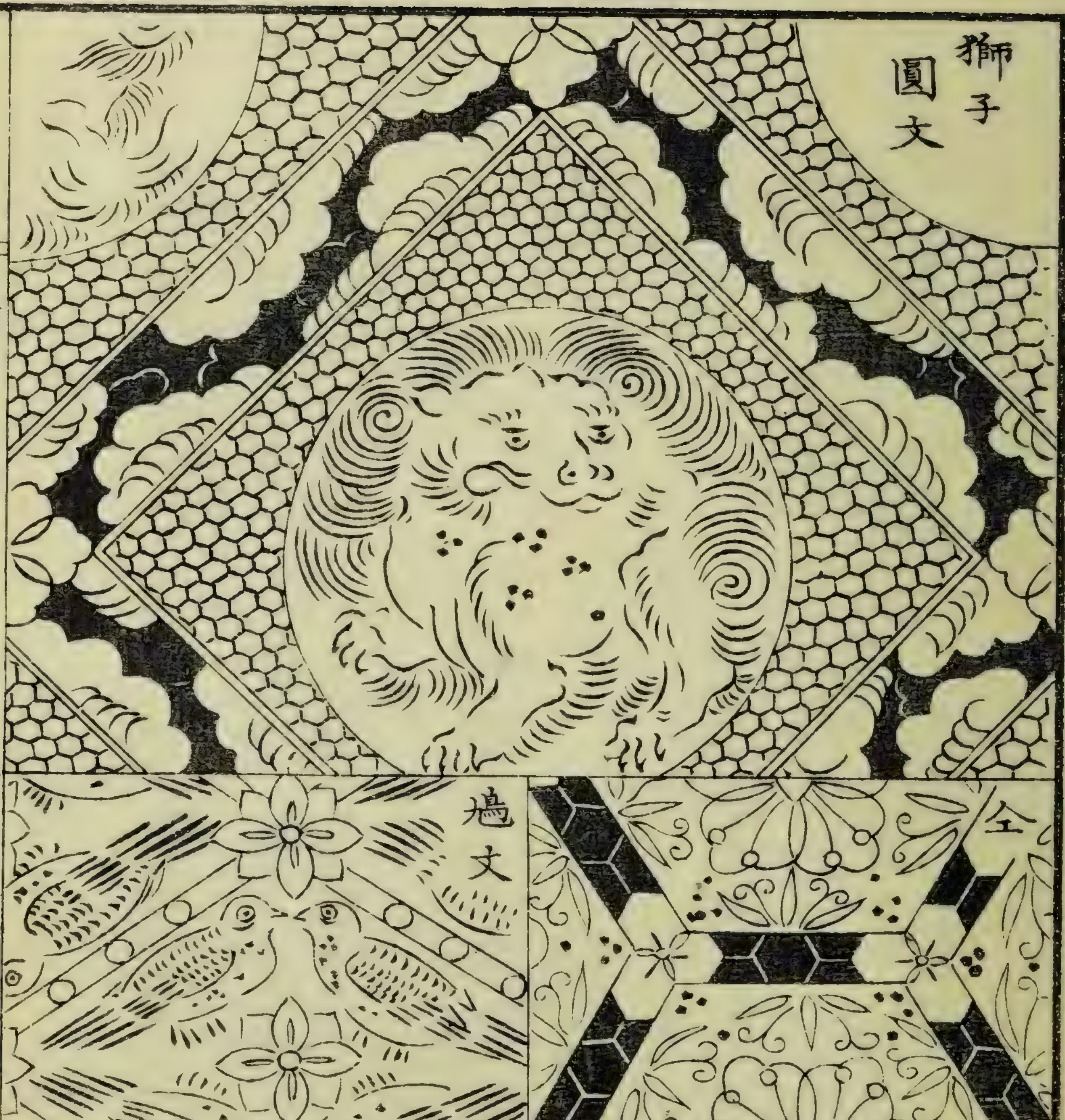


几形文





淶草牡丹獅子文
篭目文
獅子面文
圓花文



獅子圓文
鳩文
仝

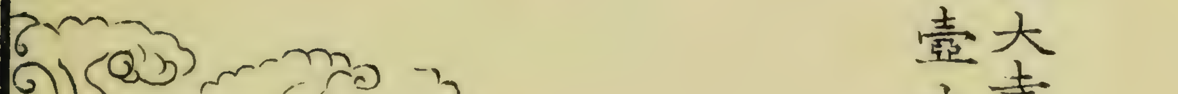
古綾文



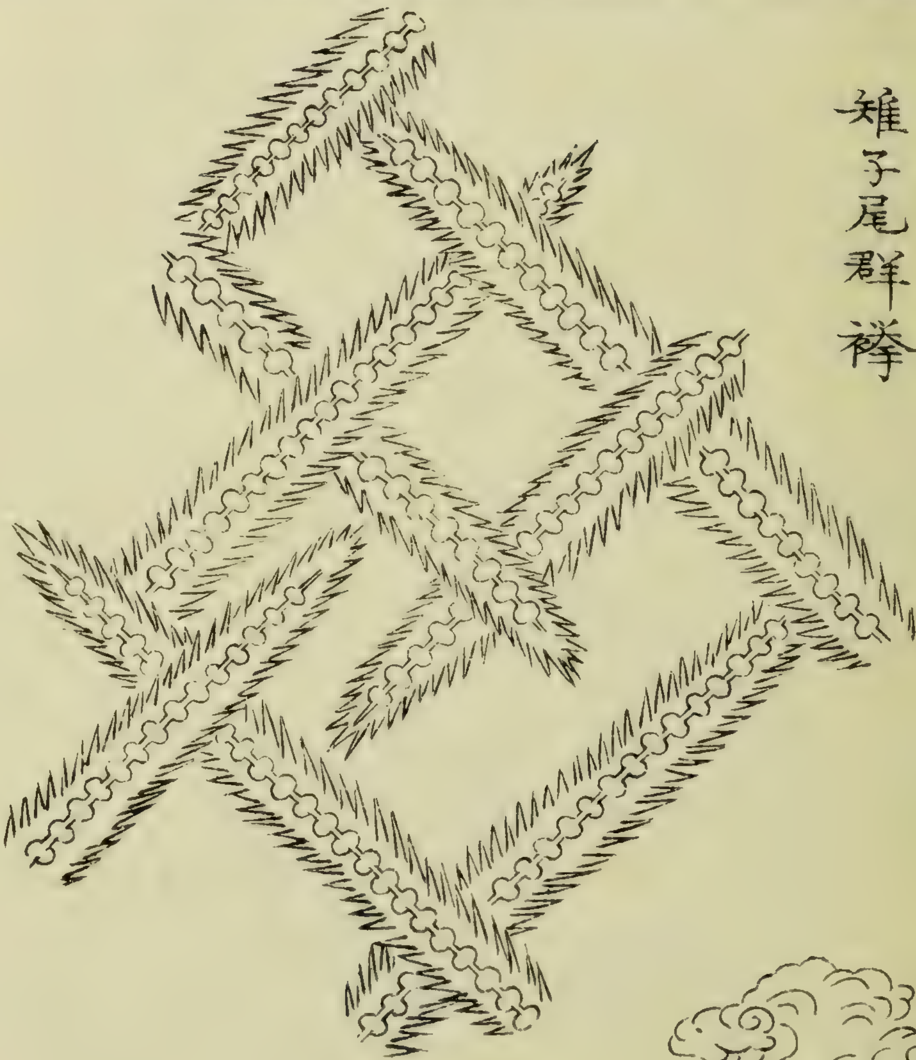
法隆寺什
尺度
甲ノ文
唐華



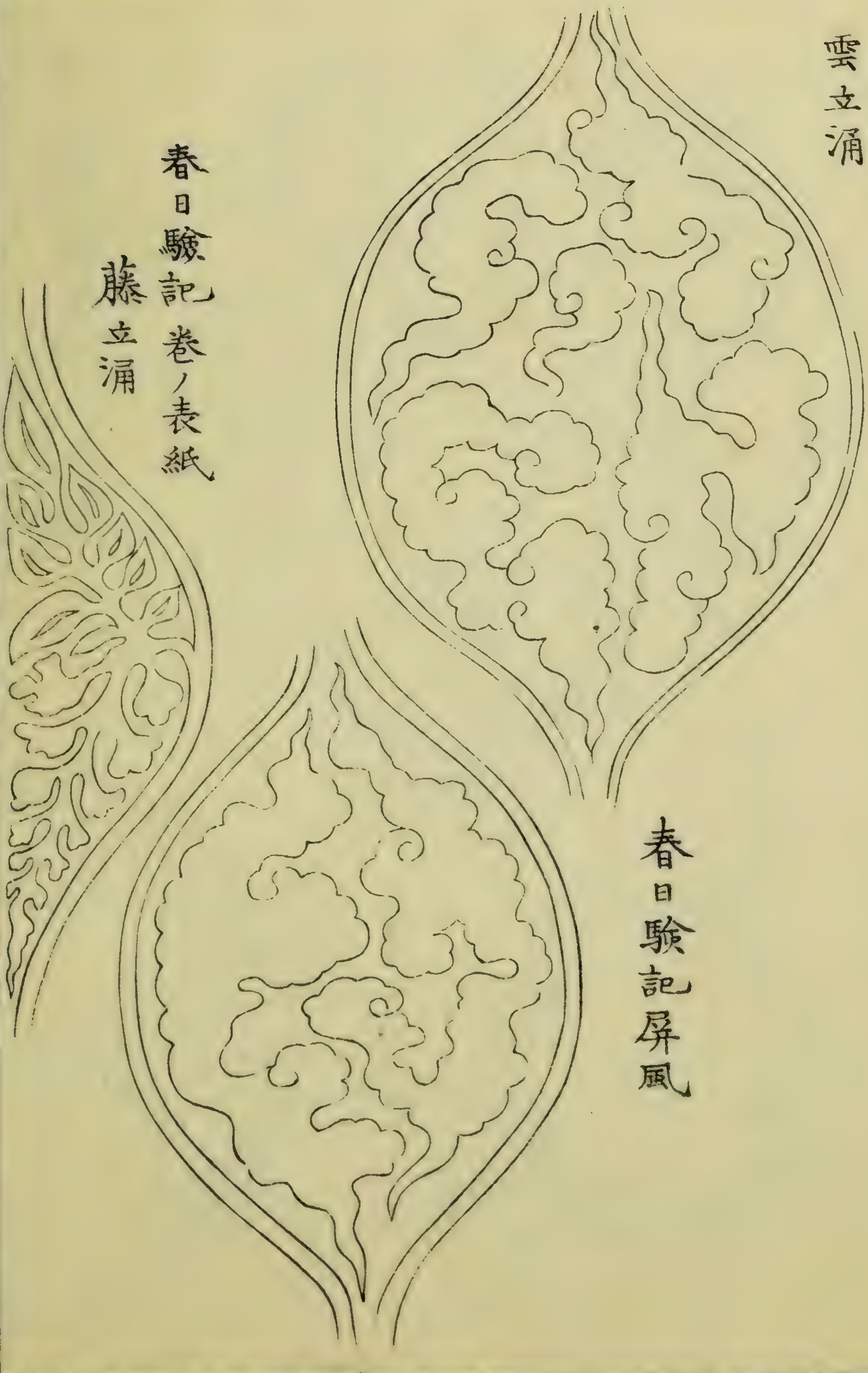
東大寺三ッ倉御物
投壺文様



伴大納言繪巻
童子袴ノ文
雉子尾群袴





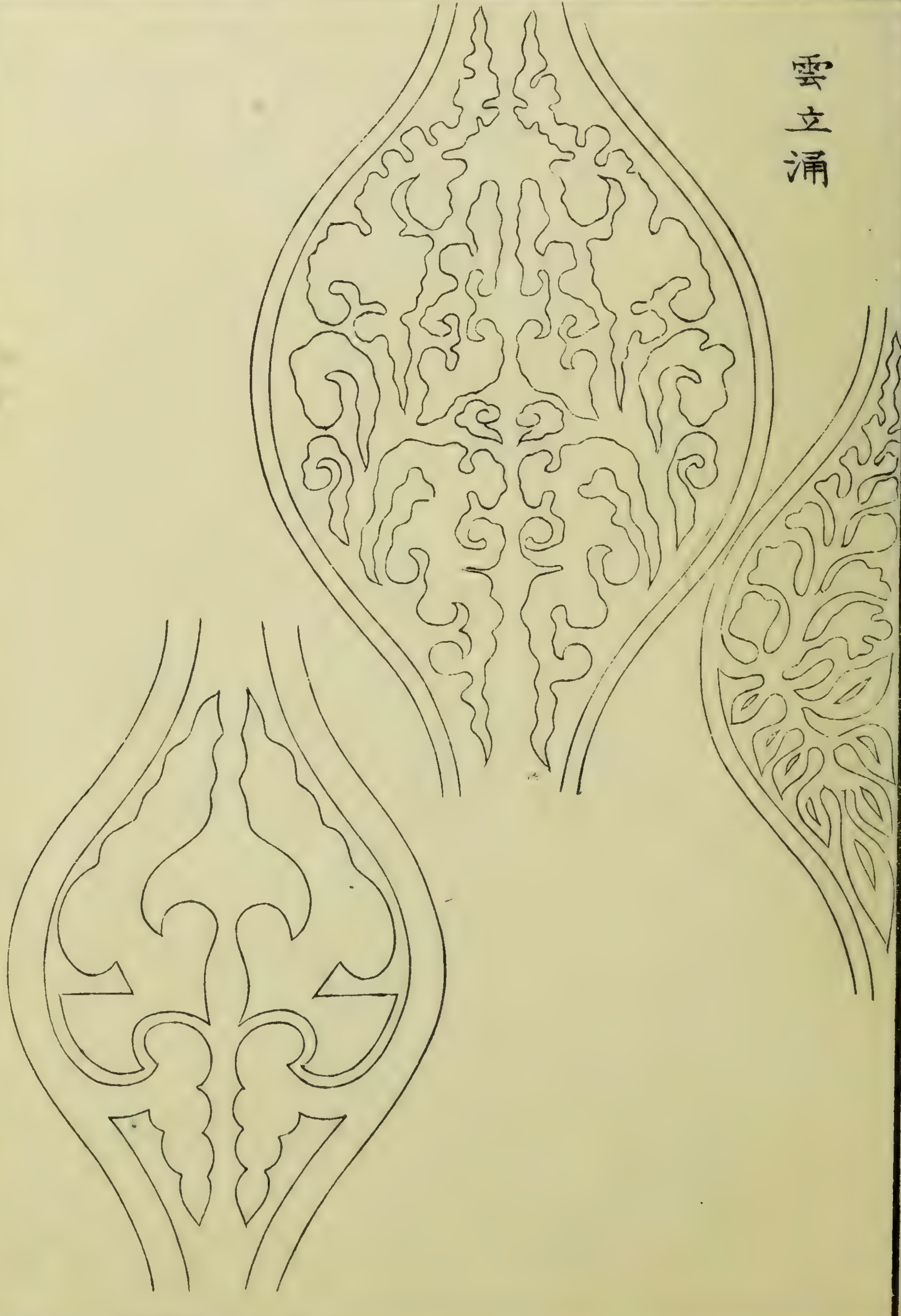


伴大納言繪巻　雲立涌

春日驗記巻ノ表紙　藤立涌

春日驗記屏風

雲立涌



伊勢國多度神社神宝
古鏡背面



春日験記
衣文



古錦文



伴大納言繪巻中



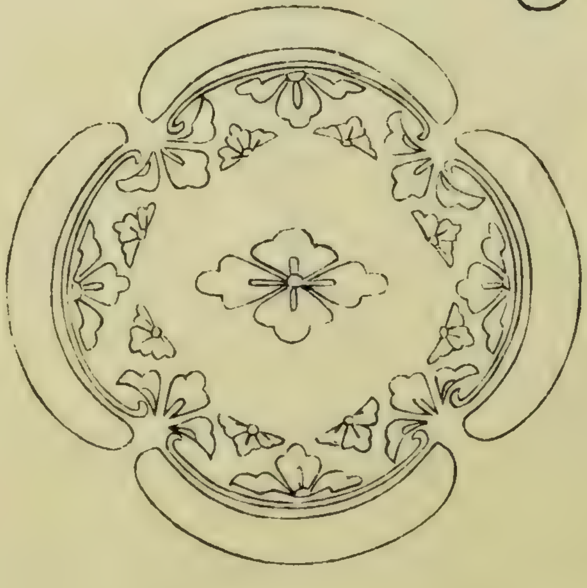
古綾

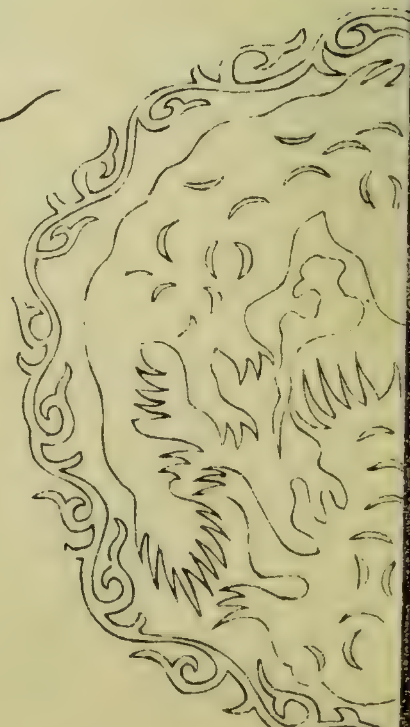


古綾文



德大寺家窠





多度神社神寶
古鏡背面



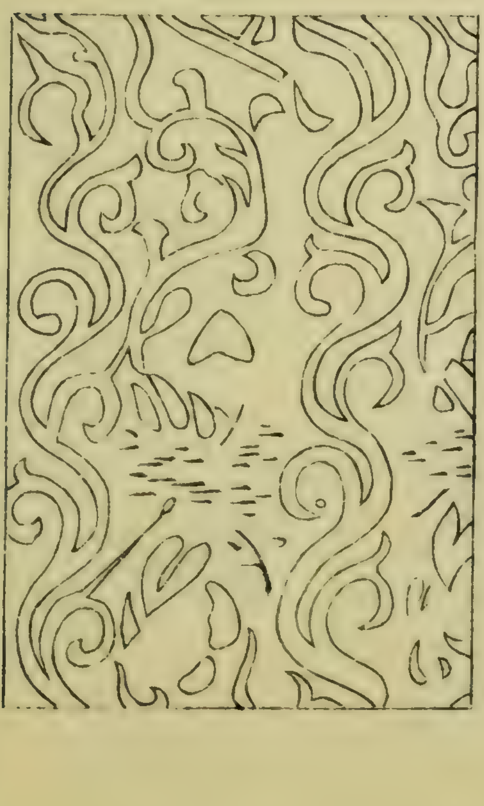
九條家窠唐草



名物裂ノ中あめ錢



仝
糸巻



紋瀾ニ所載
出所不詳



鳥襷異文



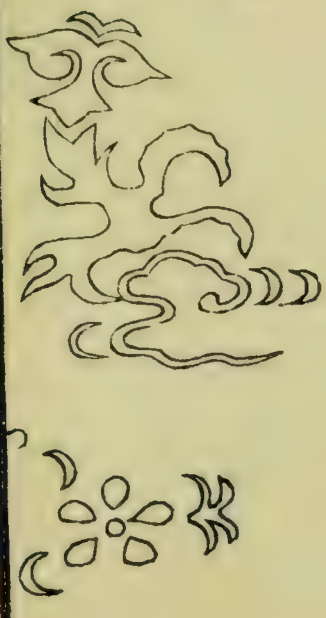
東大寺羅索院執金剛神御戸帳ノ文



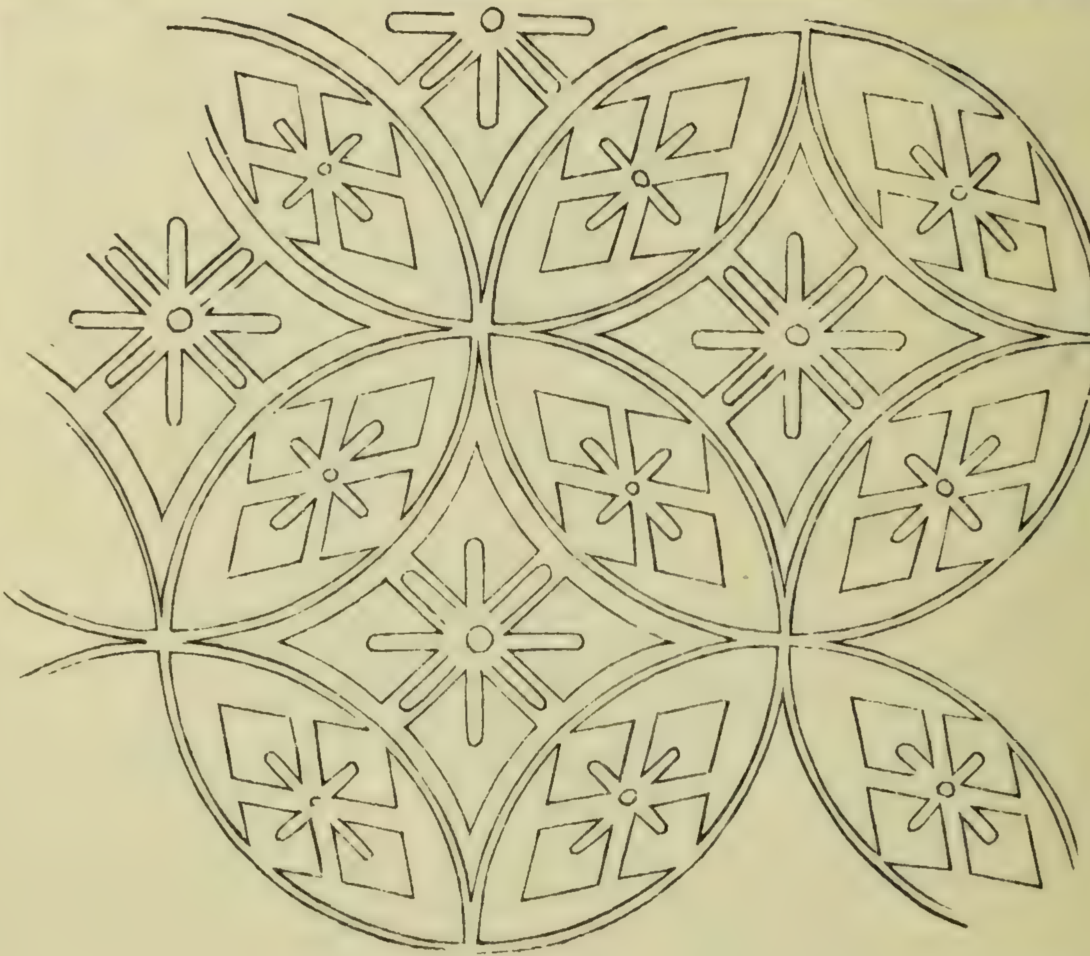
古織文

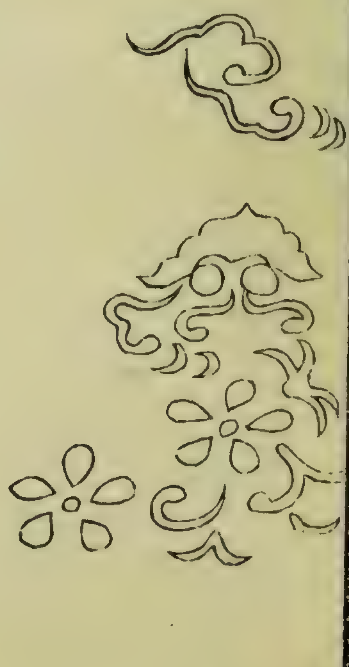


古綾文



古画源氏繪袴文 菱輪違





或家藏鶴亀摸様古鏡背面

集古十種所載



加茂神社競馬缺腋
蠻繪文



流好浮線綾



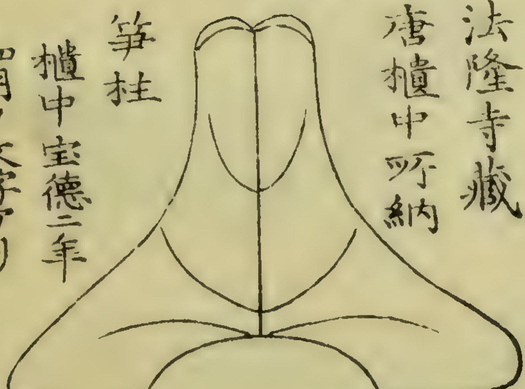


歌中山清閑寺藏箏龍尾蒔繪
小督局所愛云



法隆寺藏
唐櫃中所納

箏柱
櫃中宝德二年
四月ノ文字アリ



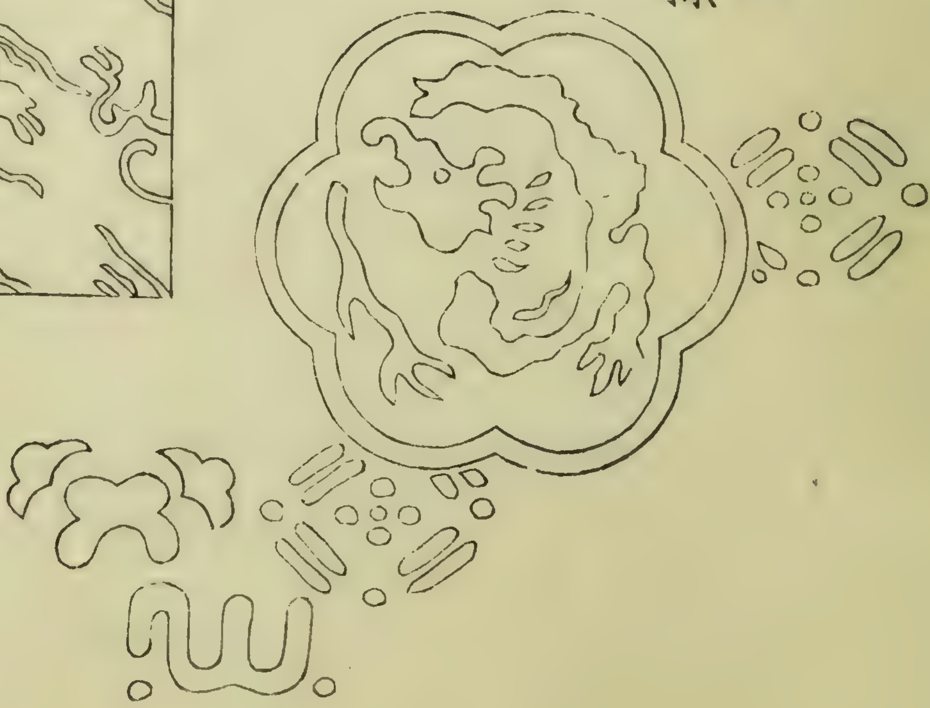
或家藏古鏡背面

集古十種所載



中古平絹

染摸樣



名物裂

雲鶴





東大寺三ツ倉御物
手箱蓋文
位置同上



東大寺三ツ倉御物手箱蓋ノ文

但位置不同

